

3.3.2 マンジョカ

イ) 生産

表 142

マンジョカ：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg/ha
1	バ イ ア	330.0	3,960.0	12,000
2	マ ラ ニ ヨ ン	358.2	2,439.2	6,809
3	パ ラ ー	150.0	1,849.4	12,350
4	リオ・グランデ・ド・スール	137.0	1,672.3	12,207
5	パ ラ ナ	70.0	1,383.0	19,794
6	ベルナンブコ	164.0	1,357.0	8,280
7	ミナス・ジェライス	96.0	1,281.3	13,366
8	サンタ・カタリーナ	76.5	1,000.0	13,072
9	アマゾーナス	73.5	882.3	12,000
10	サンパウロ	36.3	787.3	21,700
11	セルジッペ	42.1	600.0	14,257
12	ピ ア ウ イ	118.0	581.0	4,936
13	エスピリト・サント	34.0	574.2	16,944
14	パライーバ	58.2	451.3	7,753
15	セ ア ラ	83.0	442.1	5,328
16	ロンドニア	24.2	408.0	16,806
17	リオ・グランデ・ド・ノルテ	49.3	390.0	7,899
18	マツト・グロッソ	21.0	339.0	16,103
19	ゴ ヤ ス	23.0	319.2	14,088
20	マツト・グロッソ	21.0	287.0	13,691
21	ア ク レ	16.6	275.1	16,600
22	そ の 他	39.2	467.4	11,923
	合 計	2,021.1	21,746.1	10,759

出所：IBGE

82/83農年の生産量は21.7百万トンと発表されており、前年を(-)9.6%下廻り過去5ヶ年間最低の生産量である。中でも国内最大の生産地帯を構成する東北地方の前年比20.2%の減産が大きく影響している。国内のマンジョカ生産は70年代の始めより継続して減少しており、71年に30.2百万トンあげたのと比較すると現在の生産量は(-)28%の規模に落ちている。

この様な生産下降の現象は主に次の理由によっている。

a) 1972年に小麦に対する補助が開始されて以来安価な小麦粉の利用に集中し、マンジョカ粉の需要が失なわれた。このためサンパウロ州内のマンジョカ粉製造工場はほとんどが閉鎖し、これがマンジョカの生産に更に影響した。

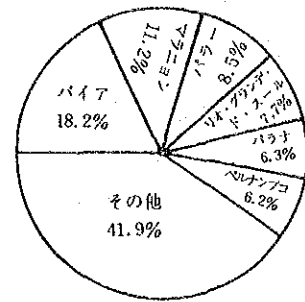
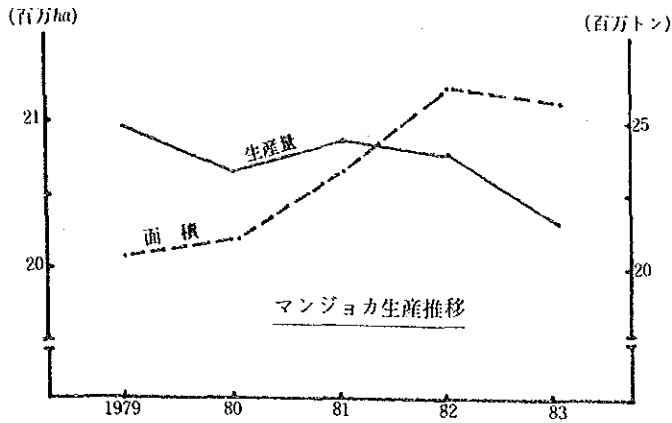


表 143 マンジョカ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 バ イ ア	4,704.0	4,880.0	5,600.0	4,439.2	3,960.0
2 マ ラ ニ ヨ ン	3,065.0	3,280.0	3,112.2	3,478.4	2,439.2
3 バ ラ ー	1,446.0	1,239.3	1,524.0	1,675.4	1,849.4
4 リオ・グランデ・ド・スール	2,496.3	1,720.0	1,700.2	1,685.4	1,672.3
5 バ ラ ナ	801.2	907.3	1,100.4	1,219.0	1,383.0
6 そ の 他	12,449.7	11,439.0	11,479.6	11,511.9	10,442.2
合 計	24,962.2	23,466.0	24,516.4	24,009.3	21,746.1
面 積 1,000ha	2,111.0	2,016.0	2,067.2	2,133.0	2,021.1

表 144 マンジョカ：主要生産地の単収 kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
バ イ ア	16,000	16,000	16,000	12,400	12,000
マ ラ ニ ヨ ン	8,881	8,904	7,990	7,547	6,809
バ ラ ー	12,999	12,158	12,349	12,779	12,350
リオ・グランデ・ド・スール	10,810	11,170	12,338	12,227	12,207
バ ラ ナ	18,000	19,731	18,745	19,500	19,794
全 国 平 均	11,824	11,640	11,859	11,256	10,759

出所：IBGE

b) 流通面でよりすぐれた条件下にある大豆、煙草、砂糖キビに比してマンジョカの生産販売条件が劣ったこと、とくにプロ・アルコール(国家アルコール計画)の設定以降は、その大きな恩恵に支えられて砂糖キビの生産が増加し、マンジョカ栽培がこれに切換えられたあとがある。

82/83農年における減産は以上のような背景のほか、東北地方における極度の乾燥、南部地方における降雨多量が直接影響したものである。

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

FAOの統計によると1983年の世界生産は約125百万トンであり、ブラジルはその18%を占めて最大の生産国となっており、タイが15%のシェアでこれに続いている。

生産量では世界最大の規模を持つブラジルも国際市場への参加率は微々たるものであり、マンジョカ貿易の95%はタイによって占められている。世界の消費量はペレットの状態で約580万トンと見積られており、EC諸国がその大半(560万トン)を購入する最大の市場となっている。

ブラジルの輸出は1983年度実績では、マンジョカ粉976トン(204,000ドル)、マンジョカ澱粉3,429トン(721,000ドル)、計93万トンの輸出であった。

表 146

マンジョカ：世界生産

100万トン

国 別	1980	1981	1982	1983
ブラジル	24.6	24.5	24.0	21.7
タイ	13.5	16.5	16.9	19.0
インドネシア	13.5	13.4	13.5	13.0
ザイレ	12.5	12.8	13.1	12.0
ナイジェリア	11.0	11.3	11.5	11.0
その他	46.9	47.6	48.1	48.3
計	122.0	125.6	122.7	125.0

出所：FAO

ハ) 国内市場及び価格

生産の下降に対して需要が増加したため澱粉と粉の価格は年間を通じて上向きであった。この傾向はとくに下半期に強くなった。すなわちマンジョカ粉の価格はサンパウロ及びリオ・デ・ジャネイロの卸市場で、4～5月間に1俵50kg当りCr\$3,000.00であったものが83年末にはCr\$11,000.00～12,000.00に上昇し、ほぼ300%の値上りを示した。東北地方でもセアラ州都フォルタレーザ市やペルナンブコ州都のレシーフェ市では同様の傾向がみられ、上記期間にCr\$3,500.00～4,000.00よりCr\$13,000.00～15,000.00へ高騰している。

澱粉の価格もほぼ同様の傾向でkg当り2月のCr\$90.00より12月にはCr\$400.00へと上昇したが、これは83年

の生産が85～90千トンと予想されていたところ80千トンの生産に終り、供給不足を生じたための結果であった。このような生産の減少は国内最大の澱粉製造地帯を構成するパラナ州とサンタ・カタリーナ州が洪水による被害を蒙ったためである。

この様な澱粉需要の増加は東北地方において特に多くみられたが、これは1983年より加速された小麦に対する補助の減少により小麦製品価格があがったため、低所得層がより安価な他の代替品を求めた結果によるものである。

生産者受取価格はサンパウロ州を例にとると2月のCr\$6,500 / トンより12月にはCr\$30,000～32,000へと上昇し、インフレ率をはるかに上廻る値上りであった。

表 146 マンジョカ粉の卸市場価格 1983年 Cr\$ / 50kg

月	サンパウロ	リオ・デ・ジャネイロ	レシーフェ	フォルタレーザ
2	2,500	2,500	—	—
4	2,800	2,800	4,500	3,500 / 4,000
5	3,000	3,200	4,500 / 5,000	—
7	4,500	4,500 / 5,000	5,500	5,000 / 5,500
8月前半	5,500 / 6,500	5,500 / 6,500	6,500 / 7,000	6,500 / 7,000
〃 後半	9,500	9,500	8,000	8,000
10	11,000	11,000	10,500	10,500
12	12,000	12,000	15,000	13,000

出所：CEP

表 147 マンジョカ：生産者受取価格 Cr\$ / t

月 別	サンパウロ	パラナ	サンタ・カタリーナ	ベルナンブコ
2月	6,500 / 7,000	6,500 / 7,000	6,500 / 7,000	
4 / 5月	8,000 / 8,500	8,000 / 8,500	8,000 / 8,500	10,000 / 12,000
7月	10,000 / 11,000	10,000 / 11,000	10,500 / 11,000	12,000 / 13,500
8月前半	14,000 / 15,000	13,000 / 15,000	14,000 / 15,000	15,000 / 16,000
〃 後半	18,000 / 20,000	17,000 / 18,000	18,000 / 20,000	22,000
10月	22,000 / 25,000	20,000 / 22,000	22,000 / 25,000	25,000 / 27,000
11 / 12月	30,000 / 32,000	30,000	30,000 / 32,000	35,000 / 38,000

出所：CFP

ホ) 生産コスト

サンパウロ州農務局農業経済研究所が発表したマンジョカ生産コスト83/84、84/85農年予想は次表の通りである。

表 148. マンジョカ：生産コスト 1ha25トン収穫の場合 アラス地方（SP）

項 目		83/84		84/85	
A-作業コスト	所要日数	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
a) 直 営					
1) 人 夫 賃	35.77-36.60	2,365.	84,596.	7,225.	264,434.
2) 家 畜	3.46	205.	709.	795.	2,750.
3) 畝 立 て	0.69	42.	29.	208.	143.
4) 家 畜 中 耕	2.58	42.	108.	208.	536.
5) 運 搬	0.19	111.	21.	394.	74.
小 計			85,464.		267,940.
b) 請 負					
1) 耕 起			12,500.		40,000.
2) 碎 土			5,500.		27,600.
合 計		—	103,464.	—	335,546.
B-資 材 コ ス ト					
1) 石 灰	2.07-0.50t	8,800./t	18,216.	35,000./t	17,500.
2) 杭	5.00m ³	2,100./m ³	10,500.	15,000./m ³	75,000.
3) 殺 蟻 剤	0.51kg	530./kg	270.	2,266./kg	1,156.
4) 配 合 肥 料	0.17t	—	—	615,151./t	104,576.
計		—	28,986.	—	198,231.
直 接 費 計		—	132,450.	—	533,771.
C-間 接 コ ス ト					
1) 機 械 償 却 費			567.		2,326.
2) 銀 行 利 息 生 産 費			77,483.		573,804.
* 固 定 投 資			219.		532.
合 計		—	210,719.	—	1,110,432.

出所：IEA

3.3.3 綿

イ) 生 産

82/83農年の綿生産は草綿135万ヘクタール、木綿158万ヘクタール、計293万ヘクタールの面積で行なわれ、実綿重量で160万トン、繰綿重量にして586.3千トンで前年を(-)17.3%下廻る大巾な減産であった。とくに南東、南部地方の収穫時における降雨、東北地方における長期乾燥が収穫に大きな影響を与えた。この東北地方の被害はとくにひどく前年比(-)68%という大減産であり、近年最大の被害といわれており、繊維工場への原料供給面で深刻な影響があった。またサンパウロ州の生産地帯カンピーナス地方や、後日東北地方のパライーバ州にも発生したビクード(Bicudo)と呼ばれる害虫(学名Anthonomus Grandis)の被害があり、その蔓延が憂慮された。政府は、米国で多大の被害を与えているこの害虫が他の地方へ広がるのを避けるため、発生地域の徹底的な抜根対策まで研究し、サンパウロ州とパライーバ州についてそれぞれ異なった対策が決定されている。サンパウロ州ではビクードの発生地帯に新規植付けを許可するが厳重な監督下に行なわれることとし、害虫発生地帯の隣接地帯には

表 149

綿(草綿): 1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg/ha
1	パ ラ ナ	440.0	700.0	1,591
2	サ ン パ ウ ロ	308.7	464.2	1,504
3	ミ ナ ス ・ ジェ ラ イ ス	83.4	111.0	1,330
4	ゴ ヤ ス	37.6	80.2	2,133
5	マ ッ ト ・ グ ロ ッ ツ ・ ド ・ スール	43.0	59.5	1,388
6	バ イ ア	72.0	53.0	736
7	セ ア ラ	74.3	17.0	229
8	パ ラ イ ー バ	139.5	13.2	95
9	ア ラ ゴ ア ス	37.2	6.6	178
10	パ ラ ー	12.3	6.2	500
11	そ の 他	100.0	14.7	147
合 計		1,348.0	1,525.6	1,132

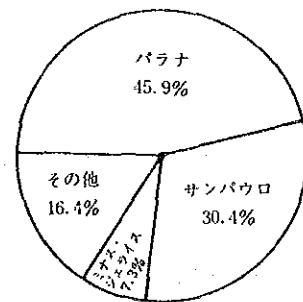
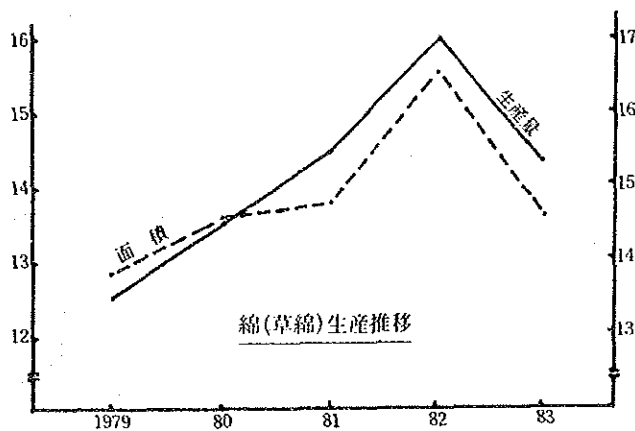
出所: IBGE

表 150

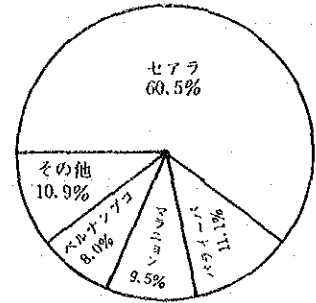
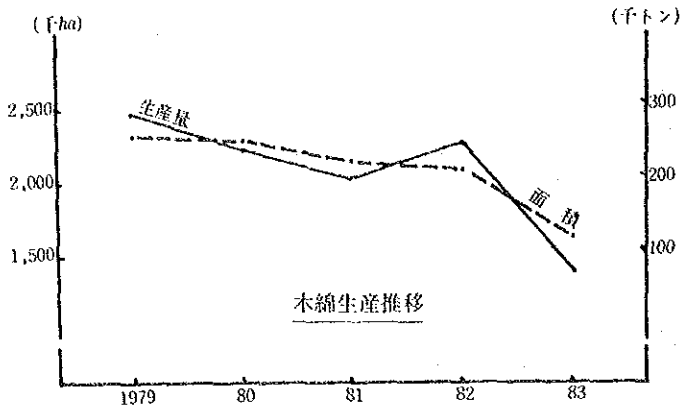
綿(木綿): 生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg/ha
1	セ ア ラ	675.2	47.2	70
2	パ ラ イ ー バ	402.8	8.7	22
3	マ ラ ニ ョ ン	29.4	7.4	251
4	ペ ル ナ ン ブ コ	89.4	6.2	70
5	リオ・グランデ・ド・ノルテ	199.1	4.3	22
6	ピ ア ウ イ	182.6	3.4	19
7	バ イ ア	2.0	0.8	431
合 計		1,580.5	78.0	49

出所: IBGE



草綿: 82/83農年生産分布



木綿：82/83農年生産分布

表 151 草綿：過去5ケ年間の生産推移 1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 パ ラ ナ	568.8	561.0	581.0	739.0	700.0
2 サ ン パ ウ ロ	507.3	482.6	552.4	529.2	464.2
3 ミ ナ ス ・ ジェ ラ イ ス	69.3	107.0	99.1	82.1	111.0
4 ゴ ヤ ス	61.2	63.0	71.2	66.5	80.2
5 マ ッ ト ・ グ ロ ッ ソ ・ ド ・ ス ー ル	71.7	69.3	76.1	61.0	59.5
6 そ の 他	76.9	156.4	162.3	213.8	110.7
合 計	1,355.2	1,439.3	1,542.1	1,691.6	1,525.6
面 積 1,000ha	1,286.1	1,353.4	1,369.5	1,571.1	1,348.0

表 152 草綿：主要生産地の単収 kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
パ ラ ナ	1,634	1,671	1,900	2,000	1,591
サ ン パ ウ ロ	1,788	1,787	1,823	1,664	1,504
ミ ナ ス ・ ジェ ラ イ ス	692	1,038	853	830	1,330
ゴ ヤ ス	1,540	2,001	1,864	1,684	2,133
マ ッ ト ・ グ ロ ッ ソ ・ ド ・ ス ー ル	1,565	1,554	1,603	1,470	1,388
全 国 平 均	1,053	1,063	1,104	1,077	1,132

出所：IBGE

表 153

綿(木綿):過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 セ ア ラ	150.0	131.2	90.0	150.0	47.2
2 パ ラ イ ー バ	49.0	40.6	32.3	24.0	8.7
3 マ ラ ニ ョ ン	12.0	12.5	13.6	11.3	7.4
4 ベ ル ナ ン ブ コ	27.3	18.0	10.7	9.8	6.2
5 リオ・グランデ・ド・ノルテ	17.4	15.6	23.5	29.7	4.3
6 そ の 他	25.3	18.6	19.4	18.6	4.2
合 計	281.0	236.5	189.5	243.4	78.0

面 積 1,000ha	2,360.0	2,346.0	2,114.4	2,072.7	1,580.5
-------------	---------	---------	---------	---------	---------

表 154

綿(木綿):主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
セ ア ラ	125	105	90	151	70
パ ラ イ ー バ	104	87	67	54	22
マ ラ ニ ョ ン	236	238	243	237	251
ベ ル ナ ン ブ コ	136	114	86	91	70
リオ・グランデ・ド・ノルテ	62	61	83	101	22
全 国 平 均	119	100	90	117	49

出所: IBGE

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

国際綿委員会(ICAC)の推定による83/84農年の世界における綿の生産は65.2百万包(14.2百万トン)で前年を(-)3.8%下廻るものとされている。これは米国政府の減反政策PIKと天候不順により単収が前年の667kg/haより560kg/haへ落ちたため、全体で前年を35.4%下廻る生産に終わったのを大きな理由としている。

しかしこのような世界の減産も世界の在庫が27.7百万包と推定されており、これに生産量を加えた供給総量が前年よりごくわずかの減少に止まるところから大きな問題は無いものとみられている。

他方、米国や極東諸国を中心とする繊維工業界の回復により世界の消費量は68.3百万包(+2.4%)に増加する見通しであり、価格は上昇傾向に入るものと予想され

表 155

綿:国際相場 US\$ / ポンド

月 別	1981	1982	1983
1	99.30	69.98	71.88
2	97.60	69.97	74.32
3	91.14	70.44	78.89
4	88.52	71.52	80.23
5	87.64	76.69	81.96
6	87.14	75.64	86.01
7	86.10	78.47	88.43
8	80.72	76.40	90.80
9	76.99	72.75	89.85
10	74.96	70.21	88.11
11	72.01	62.04	89.13
12	67.75	69.67	98.33
平均	84.16	72.57	84.08

出所: USDA / PROGNOSTIL

ている。

リバプールの国際相場をみると、1981年から82年にかけて13.6%の値下りをみたあと、83年には再び15.9%の回復をみているのが観察される。

表 156 ブラジルの繊維消費 1,000トン

年 度	天 然 繊 維					
	綿	ジュート	羊 毛	亜麻、ラミー	絹(糸)	計
1979	552.5	97.5	16.6	15.8	0.43	682.8
1980	572.4	109.7	18.4	18.3	0.44	719.2
1981	554.8	94.0	16.3	14.1	0.36	679.6
1982	579.8	85.9	17.5	9.1	0.49	692.8
1983	556.7	62.9	13.2	10.0	0.30	643.1

年 度	人 口 繊 維			合 成 繊 維			合 計	
	ビスコース	アセタート	計	ポリエステル	ナイロン	アクリリコ		計
1979	45.3	3.3	48.6	111.1	82.7	26.0	219.8	951.2
1980	44.2	4.6	48.8	121.1	90.8	28.5	240.4	1,008.4
1981	39.1	3.0	42.1	89.7	70.0	23.4	183.1	904.8
1982	39.1	2.3	41.4	100.2	69.9	23.1	193.2	927.4
1983	30.0	1.7	31.7	89.4	61.1	18.9	169.4	844.2

出所：Sindicato da Ind. Fiação e Tecelagem. SP.

表 157 綿：生産者受取価格 (Cr.\$ / 15kg)

月 別	1981	1982	1983
1	629	800	1,401
2	637	951	1,732
3	632	1,009	1,918
4	607	1,041	2,110
5	570	1,062	2,282
6	580	1,053	2,624
7	577	1,067	3,004
8	596	1,106	3,717
9	614	1,155	5,301
10	643	1,226	6,406
11	666	1,304	7,729
12	747	1,367	8,379

3.3.4 煙草葉

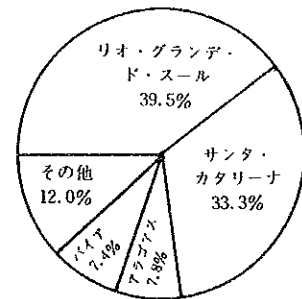
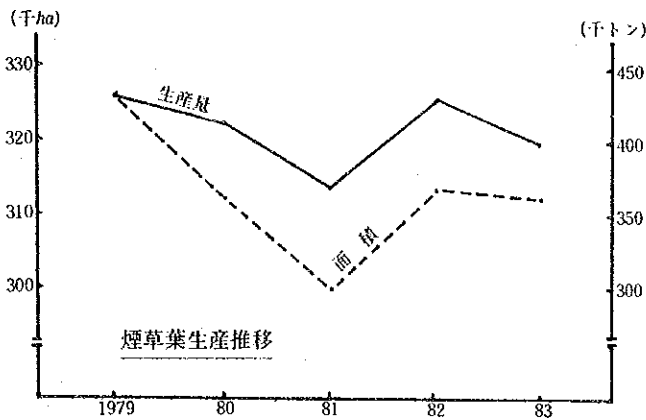
イ) 生産

表 158

煙草葉：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg/ha
1	リオ・グランデ・ド・スール	108.7	156.1	1,436
2	サンタ・カタリーナ	89.4	132.1	1,478
3	アラゴアス	33.0	31.0	949
4	バイア	42.3	29.3	693
5	パラナ	19.3	29.2	1,529
6	ミナス・ジェライス	9.2	6.6	717
7	その他	14.1	11.2	794
合 計		316.0	395.5	1,252

出所：IBGE



ブラジルの煙草生産は南部三州に集中し、82/83農年の生産実績よりみると面積で69%、生産量で80%を占める一大生産地帯を構成している。中でもリオ・グランデ・ド・スール州とサンタ・カタリーナ州の生産が大きく、全国生産にそれぞれ39.5%及び33.3%の比率を占めている。この両州の中、前者は煙草葉全体、後者は巻煙草用原料で全国最大の生産地帯である。全国生産量は年間40万トン前後であり、82/83年は前年に達した42万トンを6.2%減じた39.6万トンであった。この生産量は世界第4位の規模である。

栽培形態は生産を可能としないため家族労働を主体とする小規模の栽培を特徴としており、サンタ・カタリーナ州の場合を例にとると、煙草栽培農家の平均栽培面積は22.2ヘクタール、この中煙草の栽培面積は2.1ヘクタールとなっている。また煙草栽培を専門に行なう農家は少なく、とうもろこし、米、大豆、フェイジョン等の栽培と組合せた多角的な栽培の中の1つとして煙草葉栽培を行なっているケースが多い。このため煙草栽培に従事している農家数は多く、サンタ・カタリーナ州だけをとりても約24万家族と推定されており、社会的に非常に大きな意味を持つ作物となっている。

南部地方で栽培されている品種はVirginia種及びAmareninho種で、品質はよく大半が輸出に向けられる品種である。

表 159

煙草葉：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州別	1979	1980	1981	1982	1983
1 リオ・グランデ・ド・スール	143.0	149.3	138.0	153.0	156.1
2 サンタ・カタリーナ	140.0	127.4	100.4	132.1	132.1
3 アラゴアス	32.3	27.2	28.1	47.0	31.0
4 バイア	36.5	37.3	49.0	39.0	29.3
5 ミナス・ジェライス	10.2	7.4	6.0	7.7	6.9
6 その他の他	60.0	56.4	44.5	42.7	40.1
合計	422.0	405.0	366.0	421.5	395.5

面積 1,000ha	1979	1980	1981	1982	1983
	326.0	316.4	297.5	318.6	316.0

表 160

煙草葉：主要生産地の単収

kg/ha

州別	1979	1980	1981	1982	1983
リオ・グランデ・ド・スール	1,328	1,376	1,387	1,553	1,436
サンタ・カタリーナ	1,835	1,662	1,637	1,851	1,478
アラゴアス	900	829	756	943	949
バイア	760	800	836	750	693
ミナス・ジェライス	721	706	791	729	717
全国平均	1,293	1,279	1,229	1,323	1,252

出所：IBGE

煙草葉の生産面では生産者と煙草工場との間に密接な関係があり、両者間の紳士協定によって価格が定められ工場原料の供給が続けられているが、工場側では生産物の買上げ保証、技術援助、資材の供給（通常前農年作の販売期間中に支給される）生産者が必要とする投資（作業場、乾燥炉など）資金や営農資金などの銀行融資に対する保証等の便宜を提供している。

ロ) 世界市場とブラジルの輸出

国際貿易面でのブラジルの立場は世界第2の輸出国として重要な位置を占めており、米国及びEC諸国を中心とする市場への輸出が続けられている。83年度の輸出は量・金額共にほぼ前年並みの規模であり、輸出総額に対し2.1%、農産物の輸出ではコーヒー、大豆及び加工品、砂糖、ココアに次ぐ重要輸出品目に数えられる。

ハ) 国内市場価格

煙草は国の税収入面で重要な財源であり、煙草小売り価格の75.85%は国税として徴収される。

生産者受取り価格は83年12月で15kg当り Cr \$53,125

表 161 煙草葉の輸出推移

年度	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1978	119.4	249.3
79	141.6	296.5
80	144.8	295.3
81	150.0	368.7
82	166.9	477.0
83	155.0	458.0

出所：CACEX

で前年同期に比して174%の上昇であった。

表 162

煙草葉：生産者受取価格

(Cr \$ / 15kg)

月 別	1980	1981	1982	1983
1	1,630.20	3,725.50	16,821.30	53,125.00
2	1,721.50	3,968.70	17,951.10	...
3	1,649.70	4,201.90	21,998.10	...
4	1,991.80	5,109.50	22,112.70	60,954.00
5	2,083.00	5,926.00	24,214.80	53,007.00
6	2,180.20	6,186.20	27,750.00	37,167.00
7	2,467.40	6,829.60	30,833.30	39,021.00
8	2,583.80	6,897.70	31,857.10	...
9	2,712.30	7,000.00	32,333.33	49,322.00
10	2,822.70	11,448.50	25,833.33	52,000.00
11	3,349.80	12,642.50	24,857.14	53,000.00
12	3,742.40	14,688.20	30,511.50	53,125.00

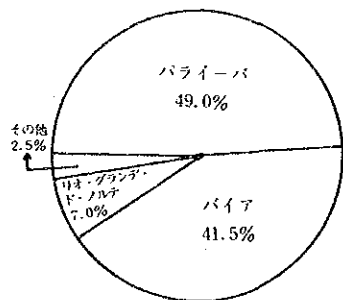
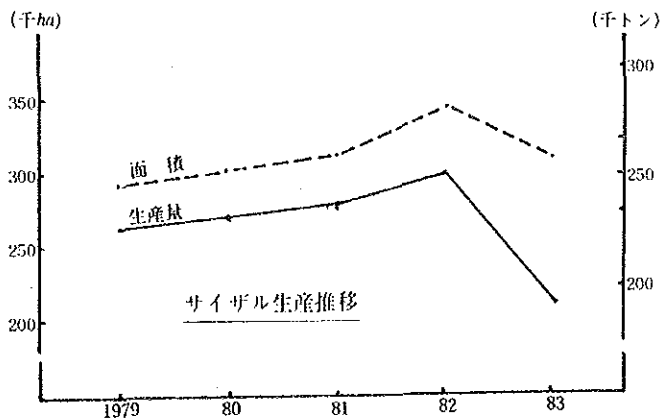
3.3.5 サイザル

表 163

サイザル：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg / ha
1	パラ イー バ	118.0	88.5	751
2	バ イ ア	150.0	75.0	500
3	リオ・グランデ・ド・ノルテ	33.2	12.4	374
4	ベル ナ ン ブ コ	5.2	4.7	880
5	セ ア ラ	0.3	0.2	750
合 計		306.7	180.8	590

出所：IBGE



サイザル：82/83農年生産分布

表 164

サイザル：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 パ ラ イ ー バ	103.0	81.0	80.2	79.0	88.5
2 バ イ ア	100.0	133.0	138.2	150.0	75.0
3 リオ・グランデ・ド・ノルテ	13.6	13.7	14.3	14.1	12.4
4 ベ ル ナ ン プ コ	11.3	7.0	6.2	5.8	4.7
5 セ ア ラ	0.3	0.3	0.3	—	0.2
6 そ の 他	—	—	—	0.3	—
合 計	228.2	235.0	239.2	249.2	180.8
面 積 1,000ha	288.0	296.1	312.5	341.6	306.7

表 165

サイザル：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
パ ラ イ ー バ	986	706	695	702	751
バ イ ア	714	950	894	800	500
リオ・グランデ・ド・ノルテ	397	399	412	409	374
ベ ル ナ ン プ コ	1,271	1,028	828	860	880
セ ア ラ	1,000	1,000	858	—	750
全 国 平 均	792	793	765	730	590

出所：IBGE

3.3.6 ジュート及びマルバ

表 166

ジュート：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単収 kg/ha
1	アマゾーナス	6.5	7.8	1,200
2	パラ	4.5	5.1	1,139
	合 計	11.0	12.9	1,175

出所：IBGE

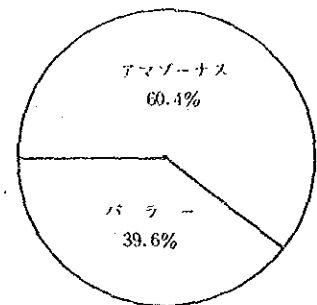
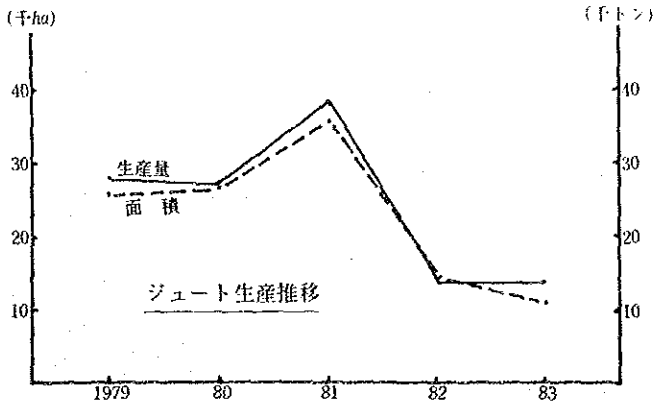


表 167

ジュート：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 アマゾーナス	19.5	18.8	22.3	10.3	7.8
2 パラ	9.0	8.8	16.6	3.9	5.1
合 計	28.5	27.6	38.9	14.2	12.9

面積 1,000ha	25.1	26.2	36.4	14.6	11.0
------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表 168

ジュート：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
アマゾーナス	1,082	1,000	989	1,041	1,200
パラ	1,264	1,206	1,194	832	1,139
全国平均	1,133	1,057	1,068	974	1,175

出所：IBGE

表 169

マルバ：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単収 kg/ha
1	アマゾーナス	13.7	24.7	1,800
2	パラ	28.0	20.3	730
3	マラニオン	3.0	3.0	930
	合 計	44.7	48.0	1,072

出所：IBGE

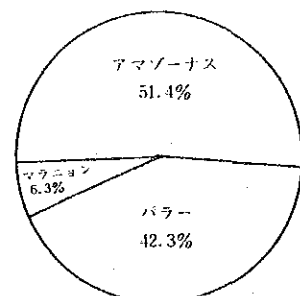
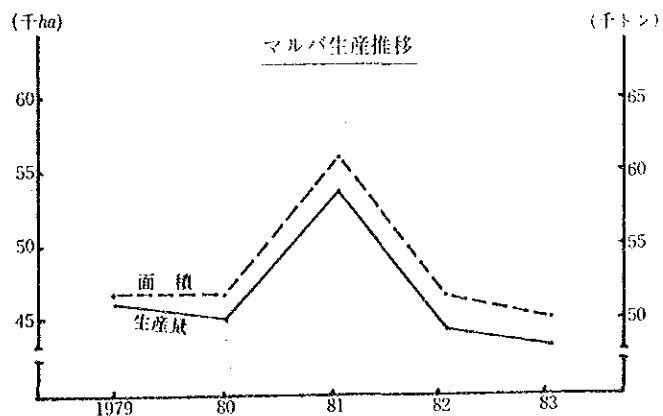


表 170

マルバ：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 アマゾーナス	20.6	20.3	25.8	19.5	24.7
2 パラー	26.1	24.7	29.4	23.2	20.3
3 マラニョン	4.7	5.0	3.0	6.1	3.0
合 計	51.4	50.0	58.2	48.8	48.0

面積 1,000ha	46.6	46.0	56.3	46.0	44.7
------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表 171

マルバ：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
アマゾーナス	1,500	1,500	1,499	1,800	1,800
パラー	968	941	850	800	730
マラニョン	800	850	669	1,030	930
全 国 平 均	1,103	1,095	1,034	1,067	1,072

出所：IBGE

表 172

ラミー：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単収 kg/ha
1	パラナ	4.7	9.6	2,052
2	バイア	—	—	—
	合 計	4.7	9.6	2,052

出所：IBGE

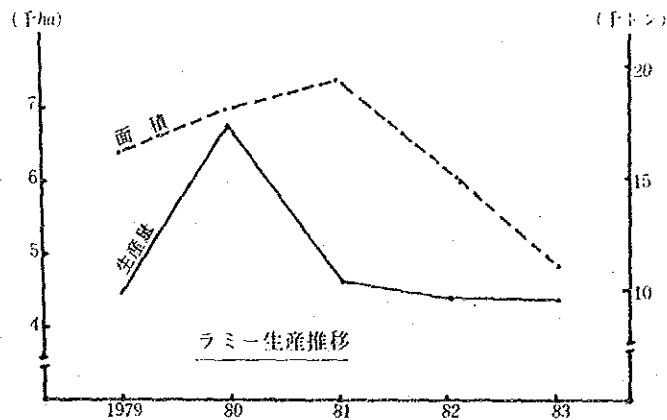


表 173

ラミー：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 パラナ	8.8	17.0	10.1	9.4	9.6
2 バイア	0.2	0.3	0.1	0.2	—
合 計	9.0	17.3	10.2	9.6	9.6

面積 1,000ha	6.3	7.0	7.3	6.0	4.7
------------	-----	-----	-----	-----	-----

出所：IBGE

表 173A

ラミー：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
パラナ	1,419	2,507	1,407	1,629	2,052
バイア	1,200	1,199	1,000	1,200	—
全国平均	1,414	2,463	1,401	1,618	2,052

出所：IBGE

3.4 嗜好作物

3.4.1 コーヒー

イ) 生産

表 174

コーヒー：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg/ha
1	ミナス・ジェライス	600.6	1,084.2	1,805
2	サンパウロ	649.7	798.3	1,229
3	パラナ	440.0	609.0	1,387
4	エスピリト・サント	386.5	554.5	1,435
5	バイア	84.2	92.6	1,099
6	その他	118.3	191.9	1,622
	合 計	2,279.3	3,330.5	1,450

出所：IBGE

82/83農年におけるコーヒーの生産量は前年の不作のあと再び330万トンに回復しており、過去5ヶ年間では400万トンを突破した81年に次ぐ生産を記録している。

州別の生産状況を見ると81年を除き、過去5ヶ年間首位にあったサンパウロ州に代ってミナス・ジェライス州が100万トン以上の生産をもって第1位に位置している。また昔は世界的な生産地帯を構成したパラナ州では、70年代に入ってより度重なる霜害によって多くのコーヒー園が抜根され、生産地帯を霜害のない北部の Rondônia やセラーダ地帯、南東地方の海岸地帯エスピリト・サント州に移動させており、これらの州におけるコーヒー生産の拡大がみられる。

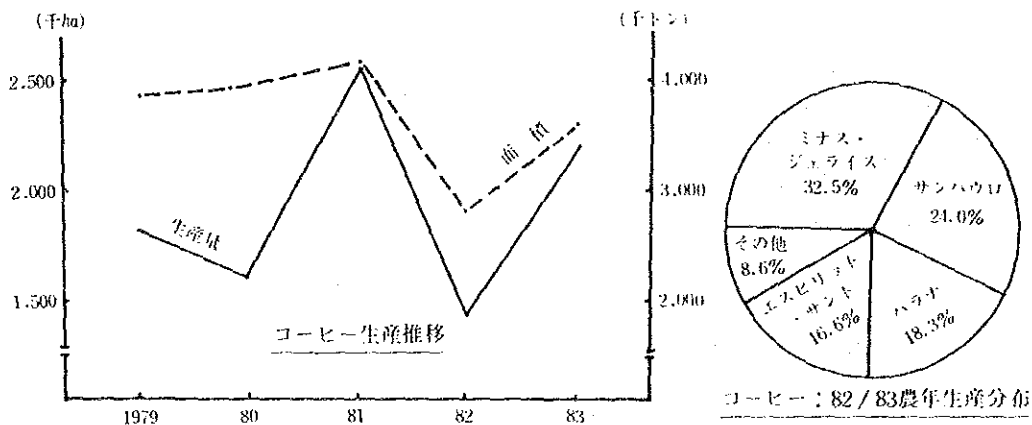
表 175 コーヒー：過去5ヶ年間の生産推移 1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 ミナス・ジェライス	938.6	405.0	1,366.5	479.4	1,084.2
2 サンパウロ	1,023.3	824.0	1,218.0	674.4	798.3
3 パラナ	238.1	331.0	912.4	162.7	609.0
4 エスピリト・サント	282.0	367.2	332.3	346.8	554.5
5 バイア	70.0	8.0	83.3	75.0	92.6
6 その他	113.5	117.2	151.7	115.6	191.9
合 計	2,665.5	2,122.4	4,064.2	1,853.9	3,330.5
面 積 1,000ha	2,406.2	2,436	2,617.8	1,857.5	2,279.3

表 176 コーヒー：主要生産地の単収 kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
ミナス・ジェライス	1,812	875	2,583	999	1,805
サンパウロ	1,287	1,023	1,342	1,213	1,229
パラナ	376	520	1,327	537	1,387
エスピリト・サント	1,000	1,073	1,112	1,058	1,435
バイア	882	879	1,443	1,003	1,099
全 国 平 均	1,107	872	1,553	998	1,400

出所：IBGE



ロ) 国際市場とブラジルの輸出

83/84農年のコーヒー生産に関する米国農務省の予想では世界の生産は91.7百万俵（精製コーヒー60kg入り）と見積られており、中ブラジルは30.0百万俵、コロンビアが13.0百万俵となっている。したがって世界第1及び第2の位置にあるブラジルとコロンビアのシェアはそれぞれ32.7%及び14.2%で、両国が世界生産のほぼ半分に近い46.9%を占める。

ブラジルに次ぐ世界的生産地帯のコロンビアでは、そのコーヒー栽培史上始めて錆び病が発生したと伝えられている。

表 177

コーヒー：世界の需給

年 度	期首在庫	生産量	輸 入	供 給 量	国内消費	輸 出 量	期末在庫
1978/79	29,547	78,911	713	109,201	19,481	61,916	25,149
79/80	25,149	81,908	727	107,784	19,977	59,008	26,051
80/81	26,054	86,249	677	112,980	20,581	56,927	32,522
81/82	32,532	98,195	732	131,439	21,269	60,202	45,832
82/83	45,832	82,345	705	128,882	20,293	62,469	42,847
83/84	42,847	91,657	673	135,177	21,560	63,943	46,841

出所：USDA / PROGNOSTICO

表 178

コーヒー輸出推移

区 分	重 量 1,000トン					金 額 100万ドル				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
コ ー ヒ ー (豆)	562	784	825	888	940	1,918	2,486	1,517	1,858	2,095.5
インスタント・コーヒー	53	40	44	45	43	408	285	238	251	246.7
計	615	824	869	933	983	2,326	2,771	1,755	2,109	2,342.2

出所：CACEX

表 179 コーヒー輸出実績 1983年

輸 出 先 国	1,000トン	100万ドル
1 米 国	200.0	485.6
2 西 独	93.7	210.2
3 イ タ リ ー	87.0	202.1
4 日 本	62.4	145.3
5 フ ラ ン ス	51.4	117.4
6 ス ペ イ ン	49.3	112.0
7 ス ェ ー デ ン	46.0	108.1
8 オ ラ ン ダ	36.1	84.1
9 オーストラリア	29.7	67.1
10 デ ン マ ー ク	26.8	62.3
11 ベ ル ギ ー	26.8	61.8
12 ノールウェー	25.7	61.0
13 ギ リ シ ャ	24.2	51.5
14 ス イ ス	21.2	49.1
15 フィンランド	17.4	40.8
16 カナリヤ諸島	14.4	34.7
17 英 国	13.8	33.0
18 アルジェリア	24.6	25.8
19 アルゼンチン	13.3	25.5
20 そ の 他	73.8	118.1
合 計	939.6	2,095.5

出所：CACEX

09.01.01.00

大陸別でブラジル、コロンビアを含む南米に次ぐ生産地帯はアフリカ（世界生産の21.5%）、中米（16.9%）、アジア（9.1%）がこれに続いている。

世界生産量の中、生産国の国内消費量は21.6百万俵で、残りの70.1百万俵に前年より繰越された42.8百万俵及び若干の輸入量が世界の総供給量となり、63.9百万俵が輸出されたあと46.8百万俵が世界の在庫として次期に繰越される。

コーヒーの国際価格は一部生産国におけるストックの増加にもかかわらず安定しており大きな変動をみていない。これは国際コーヒー協定による輸出割当てが厳格に行なわれ価格を調整しているためであり、砂糖やココアの場合にみられる不統一協定と異り、十分の効果があげられている。同協定には47の生産国と26の輸入国が加盟しており、世界輸出の99%、世界輸入の90%がコントロールされている。

83年中の価格変動としては10月にポンドあたり143.9セントの高値を記録したのが特記される。これは金利の上昇による輸入国側でのストックの減少、冬に入り季節的に需要の大きい時期に入ったことなどがその理由としてあげられている。

1983年の9月にロンドンで行なわれた会議では

世界の輸出割当量を生産国側の要請した55.2百万俵と、消費国側が主張した57.0百万俵の間をとり56.2百万俵に決定され、価格は従来と同様にポンド当り1.20~1.40ドルの範囲を継続することとした。

更に同会議では非加盟国に対する輸出をどのようにコントロールするかについての対策が論議された。これは国際協定に加盟していない第3国を経由して輸出割当以外の輸出が行なわれる場合、国際協定の効果をいちじるしく減ずるための懸念であり、その対策として違反国に対する輸出割当量の削除等の措置を定めている。

ブラジルの輸出は従来と同様にコーヒー(豆)及びインスタント・コーヒーの形で行なわれ、83年中に2,342.2百万ドルの輸出を行っている。

ブラジルのコーヒー輸出は1975年の大霜害のあと一時的に縮小し、多くの市場と他の生産国に譲っていたが、コーヒー生産の復活と共に再び市場を拡大する必要に迫られ、その戦略として供給に関する基準契約(Contrato Padrão de Suprimento)俗に輸出契約(Contrato de Exportação)と呼ばれる制度が設定され、以後へ強力な輸出戦略として利用され今日に及んでいる。

この制度とコーヒーの輸出に際しIBC(ブラジルコーヒー院)と輸入者との間に1ヶ年間の供給契約を締結し、定期的に一定量の輸出を行なう一方、契約期間中に輸入者側に損害を与える価格の変動がある場合、その損害分を補償する条項を含むもので輸入者側の危険負担を軽減し、ブラジル側の毎月一定量の輸出を確保しようとする制度で最近のコーヒー輸出最大の武器とされている。

同契約に含まれるIBC側の価格変動に対する損害負担の資金源は、コーヒー輸出に際して徴収される為替没収金が充当されることとなっている。

表 180 インスタント・コーヒー輸出実績 1983年

輸 出 先 国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1 米 国	18.2	103.6
2 英 国	9.5	53.7
3 西 独	3.7	23.4
4 カ ナ ダ	2.3	13.4
5 日 本	2.1	13.1
6 オーストラリア	2.0	11.9
7 オ ラ ン ダ	1.9	10.8
8 イ ラ ク	0.6	3.2
9 フ ラ ン ス	0.4	2.1
10 キ リ シ ャ	0.3	1.6
11 中 国	0.2	1.4
12 イ ス ラ エ ル	0.2	1.1
13 そ の 他	1.4	7.4
計	42.8	246.7

出所：CACEX

21.02.01.01

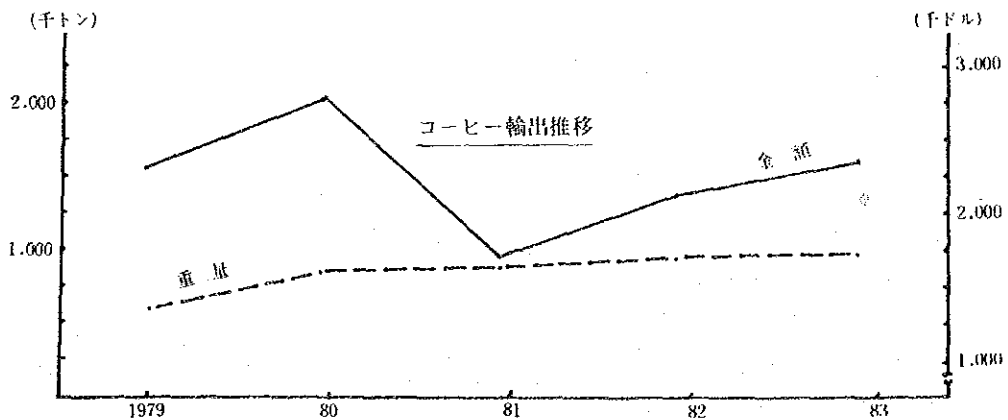


表 181 コーヒー生産者受取価格 CR/60kg

月別	価 格			実 質 価 格		
	1981	1982	1983	1981	1982	1983
1	6,011	10,384	22,045	42,321	37,554	38,908
2	6,297	10,597	22,714	40,869	35,864	37,635
3	6,298	11,204	25,603	38,075	35,365	38,535
4	6,263	12,108	27,041	35,895	36,274	37,271
5	6,288	12,943	26,781	33,936	36,538	34,593
6	6,244	14,608	28,306	32,258	38,189	32,564
7	6,322	14,657	29,029	31,085	36,126	29,473
8	7,360	15,091	29,800	33,905	35,158	27,478
9	7,480	15,292	34,956	32,795	34,368	28,577
10	7,600	16,553	40,444	31,932	35,506	29,191
11	8,228	17,929	41,413	32,828	36,625	27,565
12	9,125	20,971	47,502	35,068	40,359	29,396

3.4.2 ココア

表 182 ココア：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg/ha
1	バ イ ア	479.2	347.5	725
2	エスピリト・サント	19.4	11.0	556
3	ロンドンニア	23.4	10.8	462
4	パラ	18.0	9.5	533
5	アマゾナス	1.1	0.5	442
6	その他	3.2	0.9	281
合 計		544.3	380.2	698

出所：IBGE

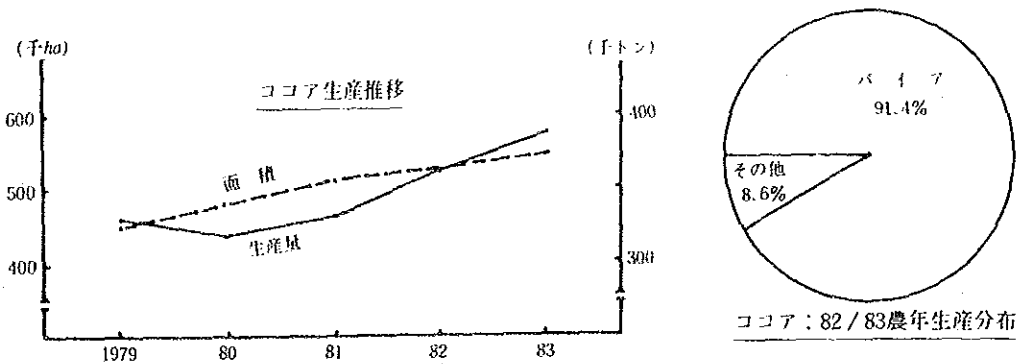


表 183

ココア：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 バ イ ア	321.1	302.5	315.0	337.0	347.5
2 エスピリト・サント	12.0	11.0	11.2	12.0	11.0
3 ロンドンニア	0.8	2.4	4.0	2.0	10.8
4 パ ラ ー	1.8	2.6	4.7	7.1	9.5
5 アマゾーナス	0.4	0.6	0.3	0.6	0.5
6 そ の 他	0.2	—	0.4	—	0.9
合 計	336.3	319.1	335.6	363.5	380.2

面 積 1,000ha	453.6	482.5	505.0	517.0	544.3
-------------	-------	-------	-------	-------	-------

表 184

ココア：主要生産地の単収

kg / ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
バ イ ア	765	690	693	734	725
エスピリト・サント	558	508	584	520	566
ロンドンニア	344	361	391	383	462
パ ラ ー	204	187	255	481	533
アマゾーナス	288	226	227	707	442
全 国 平 均	741	661	665	704	698

出所：IBGE

表 185 ココア(豆) 輸出実績 1983年

輸 出 先 国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1 ソ 連	43.4	80.4
2 米 国	26.0	44.0
3 ハンガリー	17.6	6.4
4 ポーランド	17.1	31.6
5 スペイン	16.8	30.5
6 オランダ	5.8	11.6
7 ブルガリー	3.7	7.6
8 西 独	3.6	6.6
9 そ の 他	18.8	35.1
計	152.8	283.8

出所：CACEX

18.01.01.00

表 186 ココア・リコール輸出実績 1983年

輸 出 先 国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1 米 国	23.8	52.5
2 ソ 連	13.7	30.5
3 アルゼンチン	4.2	9.8
4 ポルトガル	1.9	4.4
5 南アフリカ連邦	1.1	3.1
6 そ の 他	7.6	18.3
計	52.3	118.6

出所：CACEX

18.03.01.00

表 187 ココア油輸出実績 1983年

輸 出 先 国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1 米 国	13.0	52.3
2 オ ラ ン グ	8.6	33.7
3 日 本	3.5	14.4
4 ハ ン ガ リ ー	1.6	6.6
5 西 独	1.5	6.4
6 そ の 他	3.9	15.1
計	32.1	128.5

出所：CACEX

18.04.00.00

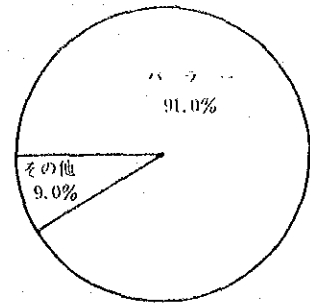
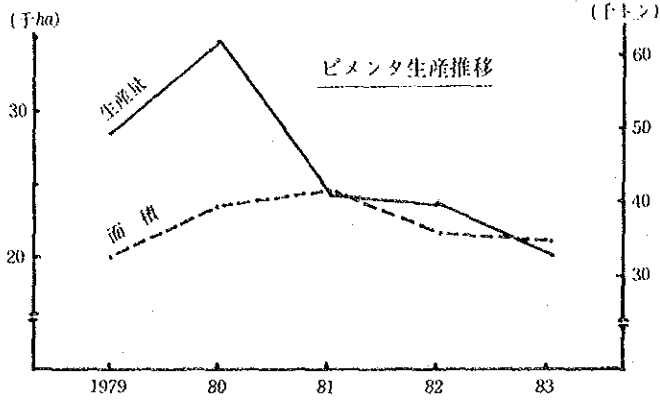
3.4.3 ビメンタ

表 188

ビメンタ：生産実績 1983年

順位	州 別	面積 1,000 ha	生産量 1,000トン	単 収 kg/ha
1	パ ラ ー	18.4	30.0	1,621
2	エスピリト・サント	0.7	1.4	2,105
3	マ ラ ニ ヨ ン	0.4	0.8	2,030
4	バ イ ア	0.7	0.5	769
5	ア マ バ ー	0.1	0.1	831
6	そ の 他	0.8	0.2	250
合 計		21.1	33.0	1,566

出所：IGGE IBGE



ピメント：82/83農年生産分布

表 189

ピメント：過去5ケ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 バラ	46.3	58.3	35.3	35.3	30.0
2 エスピリト・サント	0.2	0.5	0.5	1.2	1.4
3 マラニョン	0.6	0.7	0.6	1.1	0.8
4 バイア	1.4	2.4	3.4	0.6	0.5
5 アマパー	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1
6 その他	0.4	0.6	0.4	0.5	0.2
合計	49.0	62.6	40.4	39.0	33.0
面積 1,000 ha	20.0	23.0	23.9	22.6	21.1

出所：IBGE

表 190

ピメント：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
バラ	3,027	3,054	1,904	1,764	1,621
エスピリト・サント	899	2,131	2,100	2,389	2,105
マラニョン	3,550	3,436	1,877	3,935	2,030
バイア	473	1,194	1,193	723	769
アマパー	1,868	3,191	3,208	2,158	831
全国平均	2,465	2,715	1,758	1,718	1,566

出所：IBGE

表 191 ピメント黒輸出実績 1983年

輸出先国	1,000トン	100万ドル
1 米 国	6.4	6.2
2 西 独	3.6	4.1
3 フランス	4.2	4.1
4 モロッコ	3.1	3.3
5 カナダ	2.2	2.6
6 その他	6.6	7.7
計	26.1	28.0

出所：CACEX

09.04.01.01

表 192 ピメント白輸出実績 1983年

輸出先国	1,000トン	100万ドル
1 西 独	1.0	1.6
2 アルゼンチン	0.7	1.2
3 フランス	0.5	0.9
4 米 国	0.4	0.7
5 その他	1.3	1.9
計	3.9	6.3

09.04.01.02

3.5 果 実

3.5.1 オレンジ

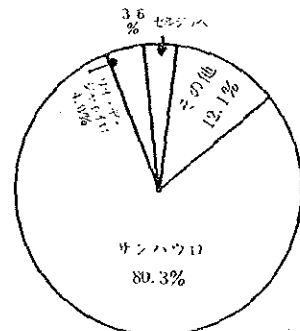
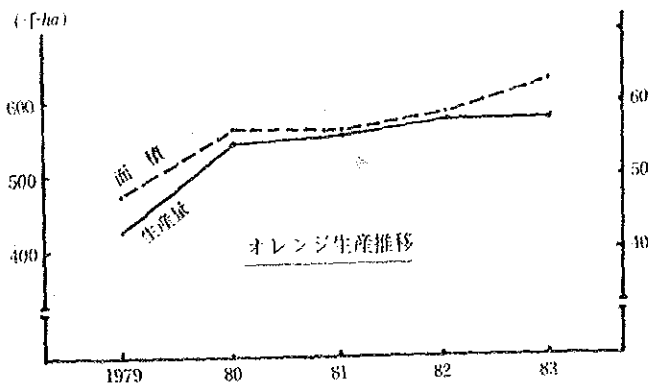
イ) 生 産

1979～83年間にみられた植付本数の増加と、それに伴う生産増加は世界のオレンジ濃縮ジュース需要の増加及び米国フロリダ州の生産地における霜害など外的な要因によるものであり、

表 193 オレンジ：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000箱	単 収 ケ/ha
1	サンパウロ	471.5	46,700.0	99,046
2	リオ・デ・ジャネイロ	36.3	2,332.0	64,145
3	セルジッペ	26.0	2,138.0	83,258
4	ミナス・ジェライス	30.4	1,965.0	64,571
5	リオ・グランデ・ド・スール	20.0	1,709.3	86,441
6	バイア	11.6	928.0	80,000
7	マラニョン	3.6	422.0	117,382
8	パラナ	4.0	339.0	83,646
9	サンタ・カタリーナ	2.4	326.0	137,152
10	ペルナンブコ	3.7	219.0	59,336
11	ゴヤス	2.4	188.0	77,583
12	パラíba	1.7	137.0	78,248
13	エスピリト・サント	1.7	136.2	81,181
14	セアラ	1.9	87.7	44,715
15	ピアウイ	1.3	83.6	64,550
16	マット・グロン	0.7	61.2	87,511
17	アラゴアス	0.7	44.0	62,579
18	マット・グロン・ド・スール	0.4	26.5	67,877
19	その他の	2.9	293.5	101,206
合 計		623.2	58,136.0	93,280

出所：IBGE



国内の生産地帯は加工工場が集中するサンパウロ州が圧倒的に大きく、全国生産の80%を占めている南東地方ではこれに続いてリオ・デ・ジャネイロ州が大きく、また東北地方のセルジッペ州は小面積の州にもかかわらず北部東北部最大の生産地帯となっている。

農業融資の改訂以来、金融コストの上昇から生産コストが高まったためや、生産過剰への不安から70年代の終り頃より栽培面積の拡大リズムが徐々に減少していたが、すでに植付けられたオレンジ樹（約120万本）の20%が生産段階に入ったため生産量は更に増大する見込みである。更に最近ではブラジルのオレンジ生産の収益を左右する米国フロリダ州が度重なる霜害のほか病害（カンクロ病）の発生も加って生産を極度に落し、国際相場をつりあげているためこれに刺激された新たなオレンジ・ブームが発生しており、フロリダの生産回復が遅延する見通しからブラジルでのオレンジ栽培は更に拡大する見込みである。

各生産地帯では次の事項が特筆される。

- a) リオ・グランデ・ド・スール州においては原料不足のため各工場は施設の遊休化を生じており、1987年までに200万本の追加植付けが奨励されている。1983年には降雨が順調であったため単収は82年を上廻る見込みであったが、長期乾燥の被害を受けたため期待外れの状況となった。
- b) 新しい生産地帯としてのゴヤス州では生産物の全部が地元で消費されているが、増産傾向にあり年間10%程度の植付増が予想されている。
- c) 同様にミナス・ジェライス州でも最近数年間に生産の増加がみられた（約20%）。生産増加は州内消費のみでなく、サンパウロ州北部に設置されているジュース工場の原料需要にもとづくものである。又同州南部地方で産出するタンジェリーナ（Tangerina—みかんの一種）はサンパウロ及びリオ・デ・ジャネイロの市場に出荷される。

表 194 オレンジ：過去5ヶ年間の生産推移

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 サンパウロ	30,645.5	42,400.0	44,832.3	45,750.0	46,700.0
2 リオ・デ・ジャネイロ	2,625.6	2,322.0	2,325.0	2,276.5	2,332.0
3 セルジッペ	1,658.2	2,396.0	2,420.0	2,595.0	2,138.0
4 ミナス・ジェライス	1,763.1	1,843.0	2,007.0	2,006.0	1,965.0
5 リオ・グランデ・ド・スール	1,852.2	1,823.0	1,695.6	1,619.0	1,709.3
6 その他	3,681.5	3,675.1	3,687.1	3,692.5	3,291.7
合計	42,226.1	54,459.1	56,967.0	57,939.0	58,136.0
面積 1,000ha	475.0	575.2	575.2	589.6	623.2

表 195 オレンジ：主要生産地の単収 ケ/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
サンパウロ	92,535	99,192	104,005	103,777	99,046
リオ・デ・ジャネイロ	80,825	66,187	66,886	63,744	64,145
セルジッペ	80,729	103,023	106,140	106,145	83,258
ミナス・ジェライス	69,221	71,003	73,301	69,188	64,571
リオ・グランデ・ド・スール	75,349	79,500	87,454	82,533	86,441
全国平均	88,895	94,670	99,030	98,273	93,280

出所：IBGE

イロの市場に出荷される。

d) リオ・デ・ジャネイロ州のみかん栽培は成本が植付本数の75%を占めており安定した生産が続いている。

残りの25%もやがて生産段階に入るので生産の増加が期待される。

オレンジを含むかんきつ部門全体に対する政府の政策としては、1983年5月にかんきつ諮問委員会 (COMCI-TRUS) が設置されており、部門の問題点、生産計画等を調整していくこととなっている。

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

表 196 オレンジ青果及び濃縮ジュースの輸出推移

区 分	重 量 1,000トン					金 額 100万ドル				
	1979	80	81	82	83	1979	80	81	82	83
生 果	89.6	82.3	59.7	70.1	48.7	17.5	14.8	14.3	17.0	10.2
ジュース	292.2	401.0	639.1	521.2	553.1	281.4	338.7	659.2	573.4	608.0
計	381.8	483.3	698.8	591.3	601.8	298.9	353.5	673.5	590.4	618.2

出所：CACEX

1983年中世界生産に対する予想は前年並みの水準が続くものとされていたが、83年12月に米国のフロリダを襲った降霜はすべての予想をくつがえし、世界的な供給の不足が明らかとなった。

米国の霜害のほか世界の主要生産国における乾燥の被害が加ったため、世界のオレンジジュース貿易は根本的な変化を経験することになり、相場は83年より84年の前半にかけた6ヶ月間に一挙に55%の増加を見、更に当分継続する見通しである。この様な相場の上昇を支えたのは米国が84年に35~38万トンの輸入を必要とする見通しが確定したためであり、フロリダの生産量が前年を13万トン下廻る365千トンに止まったのが同国輸入増加の理由となっている (注：米

国のオレンジ濃縮ジュース輸入は1982年284千トン、1983年261千トン)。

この米国の輸入に加え西欧諸国の輸入があるので、全体的に約50万トンが米国及びヨーロッパ市場に不足する

表 197 オレンジ濃縮ジュース輸出実績1983年

輸出先国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1. 米 国	256.2	281.9
2. オ ラ ン ダ	103.6	113.7
3. ベ ル ギ ー	70.6	77.5
4. カ ナ ダ	31.8	35.0
5. 西 独	16.2	17.8
6. オーストラリア	13.6	15.0
7. スウェーデン	12.1	13.4
8. イスラエル	10.2	11.3
9. 東 独	6.8	7.4
10. 英 国	5.9	6.4
11. フィンランド	5.2	5.7
12. 日 本	4.4	4.9
13. デンマーク	2.9	3.2
14. 南アフリカ連邦	2.2	2.4
15. そ の 他	11.4	12.4
計	553.1	608.0

出所：CACEX 20, 07, 01, 05

見込であり、ブラジルがその供給側として極めて有利な立場に立つこととなった。

他方、世界の消費は特にヨーロッパにおいてはドル高によって輸入製品価格が高価となるため、代用品の他の果実ジュースや代用品を求めようとする傾向があり、消費増加を期待出来る状態にはない。

ブラジルの輸出は、この様な情勢下で84年に飛躍的に伸びるが、83年は前年並みの約6億ドルの輸出であった。

ハ) 国内価格

サンパウロ州の食卓用オレンジ小売価格及び生産者受取価格は次表の通りである。

表 198 オレンジ：食卓用小売価格 Cr \$ / 1打

月別	1981年	1982年	1983年
1	44.55	81.45	161.35
2	48.91	98.60	159.80
3	56.00	121.35	167.80
4	47.55	93.05	146.65
5	48.02	107.80	144.10
6	48.05	103.35	144.15
7	47.98	92.85	178.00
8	54.12	89.00	214.00
9	58.42	95.45	269.00
10	64.26	117.20	276.00
11	72.94	138.05	309.00
12	74.93	134.70	407.00

出所：IEA

表 199 オレンジ：生産者受取価格 Cr \$ / 40kg箱

月別	1981年	1982年	1983年
1	122.65	403.61	539.50
2	209.59	400.60	477.00
3	230.92	643.47	520.00
4	202.66	534.00	517.00
5	211.65	504.56	562.00
6	269.44	404.10	633.00
7	254.57	396.72	887.00
8	321.00	386.43	968.00
9	313.21	388.54	954.00
10	272.66	419.70	1,283.00
11	311.98	447.03	1,859.00
12	350.30	447.60	2,083.00

出所：IEA

二) 生産コスト

サンパウロ州農務局農業経済研究所が発表した各造成年度別83/84農年及び84/85農年生産コスト予想は次表の通りである。

表 200 オレンジ：生産コスト 1ha 当り 200 本植 第 1 年目

区 分		83年/84年		84年/85年		
A, 作業コスト		所要日数	単価 Cr \$	金額 Cr \$	単価 Cr \$	金額 Cr \$
1) 一般労働力	25.34	2,255	57,142	6,900	174,845	
2) トラクター運転手	3.99	3,230	12,888	9,945	39,680	
3) 4輪トラクター	3.99	19,498	77,797	65,293	260,518	
4) 耕起	0.37	1,332	493	3,576	1,323	
5) 砕土	0.50	2,891	1,446	7,634	3,817	
6) 防除	0.98	3,615	3,513	14,168	13,884	
7) 運搬	0.94	1,331	1,251	4,407	4,142	
8) 運搬	1.20	1,431	1,717	3,602	4,322	
小計	—	—	156,277	—	502,531	
B, 資材コスト		数量	単価 Cr \$	金額 Cr \$	単価 Cr \$	金額 Cr \$
1) 種苗	220.00 U	250 / U	55,000	3,500 / U	770,000	
2) 配合肥料	0.10 T	90,952 / T	9,095	409,707 / T	40,971	
3) 硫酸安	0.08 T	109,629 / T	8,770	322,224 / T	25,778	
4) 石灰	0.826 T	8,756 / T	7,232	24,400 / T	20,154	
5) 殺菌剤	0.50 kg	3,027 / kg	1,514	10,624 / kg	5,312	
6) 硫酸黄	1.60 kg	1,175 / kg	1,880	3,463 / kg	5,541	
7) 展着剤	0.75 L	1,572 / L	1,179	5,683 / L	4,262	
8) 殺虫剤	2.00 L	6,307 / L	12,614	20,708 / L	41,416	
9) スプレー油	2.00 L	821 / L	1,642	5,032 / L	10,064	
10) 殺蟻剤	3.00 kg	530 / kg	1,590	2,266 / kg	6,798	
小計	—	—	100,516	—	930,296	
直接費計		—	—	256,793	—	1,432,827
C; 間接費						
1) 機械償却費			20,667		69,260	
2) 銀行利息 生産費			150,223		1,540,291	
〃 固定投資			12,173		22,491	
合計	—	—	439,856	—	3,061,869	

出所：IEA

表 201

オレンジ：生産コスト 第2年目

区 分		83年/84年		84年/85年	
A, 作業コスト	所要日数	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 一般労働力	13.13	2,255	29,608	6,900	90,597
2) トラクター運転手	1.85	3,230	5,976	9,945	18,398
3) 4輪トラクター	1.85	19,498	36,071	65,293	120,792
4) 耕起	0.56	2,891	1,619	7,634	4,275
5) 砕土	0.31	1,331	413	4,407	1,366
6) 防除	0.98	3,615	3,543	14,168	13,884
小計	—	—	77,230	—	249,312
B, 間接コスト	単 位	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 種 苗	30.00 U	250 / U	7,500	3,500 / U	105,000
2) 配 合 肥 料	0.10 T	90,952 / T	9,095	409,707 / T	40,971
3) 殺 菌 剤	1.00 kg	3,027 / kg	3,027	10,624 / kg	10,624
4) 硫 黄	2.00 kg	1,175 / kg	2,350	3,463 / kg	6,926
5) 展 着 剤	1.50 L	1,572 / L	2,358	5,683 / L	8,525
6) 殺 虫 剤	1.00 L	6,307 / L	6,307	20,708 / L	20,708
7) ス プ レ ー 油	4.00 L	821 / L	3,284	5,032 / L	20,128
8) 殺 蟻 剤	3.00 kg	530 / kg	1,590	2,266 / kg	6,798
小計	—	—	35,511	—	219,680
直接費計	—	—	112,741	—	468,992
C, 間 接 費					
1) 機 械 償 却 費			11,191		38,975
2) 銀行利息 生産費			65,953		504,166
〃 固定投資			6,366		12,324
合 計	—	—	196,251	—	1,024,457

出所：IEA

表 202

オレンジ：生産コスト 第3年目

区 分		83年/84年		84年/85年	
A, 作業コスト	所要日数	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 一般労力	15.14	2,255	34,141	6,900	104,465
2) トラクター運転手	2.18	3,230	7,041	9,945	21,680
3) 4輪トラクター	2.18	19,498	42,506	65,293	142,338
4) 耕 土	0.61	2,891	1,764	7,634	4,656
5) 運 搬	0.41	1,331	546	4,407	1,806
6) 防 除	1.16	3,615	4,193	14,168	16,434
小 計	—	—	90,191	—	291,379
B, 資材コスト	単 位	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 配 合 肥 料	0.275 T	90,552 / T	25,012	409,707 / T	112,669
2) 殺 菌 剤	2.00 kg	3,027 / kg	6,054	10,624 / kg	21,248
3) 硫 黄	5.00 kg	1,175 / kg	5,875	3,463 / kg	17,315
4) 展 着 剤	2.30 L	1,572 / L	3,616	5,683 / L	13,071
5) 殺 虫 剤	3.00 L	6,307 / L	18,921	20,708 / L	62,124
6) ス プ レ ー 油	2.26 L	821 / L	1,855	5,032 / L	11,372
7) 殺 蟻 剤	3.00 kg	530 / kg	1,590	2,266 / kg	6,798
小 計	—	—	62,923	—	244,597
直接費計	—	—	153,114	—	535,976
C, 間接コスト					
1) 機 械 償 却 費			13,160		45,821
2) 銀行利息 生産費			89,571		576,179
〃 固定投資			7,499		14,519
合 計	—	—	263,344	—	1,172,495

出所：IEA

表 203

オレンジ：生産コスト 第4年目

区 分		83年 / 84年		84年 / 85年	
A, 作業コスト	所要日数	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 一般 労 力	22.76	2,255	51,324	6,900	157,043
2) トラクター運転手	2.60	3,230	8,398	9,945	25,856
3) 4輪トラクター	2.60	19,498	50,695	65,293	169,761
4) 耕 起	0.66	2,891	1,908	7,634	5,038
5) 砕 土	0.62	1,331	825	4,407	2,732
6) 防 除	1.32	3,615	4,772	14,168	18,701
小 計	—	—	117,922	—	379,131
B, 資材コスト	単 位	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 配 合 肥 料	0.40 T	90,952 / T	36,381	409,707 / T	163,883
2) 石 灰	0.826T	8,756 / T	7,232	24,400 / T	20,154
3) 殺 菌 剤	4.00 kg	3,027 / kg	12,108	10,624 / kg	42,496
4) 硫 黄	8.00 kg	1,175 / kg	9,400	3,463 / kg	27,704
5) 展 着 剤	3.00 L	1,572 / L	4,716	5,683 / L	17,049
6) 殺 虫 剤	4.00 L	6,307 / L	25,228	20,708 / L	82,832
7) ス プ レ ー 油	8.00 L	821 / L	6,568	5,032 / L	40,256
8) 微 量 成 分	14.72 kg	498 / kg	7,331	1,707 / kg	25,127
9) 殺 蟻 剤	3.00 kg	530 / kg	1,590	2,266 / kg	6,798
小 計	—	—	110,554	—	426,299
直接費計	—	—	228,476	—	805,430
C, 間接コスト					
1) 機 械 償 却 費			15,441		53,724
2) 銀行利息 生産費			133,658		865,841
固定投資			8,839		17,088
合 計	—	—	386,414	—	1,742,083

出所：IFA

表 204

オレンジ：生産コスト 1ha当り200本 400植生産の場合

区 分		83年 / 84年		84年 / 85年	
A, 作業コスト	所要日数	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 一般労力	24.60	2,255	55,473	6,900	169,739
2) トラクター運転手	4.30	3,230	13,889	9,945	42,763
3) 4輪トラクター	3.06	19,498	59,664	65,293	199,796
4) 埴 土	0.83	2,891	2,400	7,634	6,336
5) 運 搬	1.03	1,331	1,371	4,407	4,539
6) 防 除	1.20	3,615	4,338	14,168	17,001
小 計	—	—	137,135	—	440,174
B, 資材コスト	単 位	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 配 合 肥 料	0.15 T	90,952 / T	46,840	409,707 / T	210,999
2) 石 灰	0.605 T	8,756 / T	5,297	24,400 / T	14,762
3) 微 量 成 分	22.80 kg	717 / kg	16,348	7,665 / kg	174,762
4) 乳 剤	8.00 L	821 / L	6,568	5,032 / L	40,256
5) 殺 菌 剤	4.30 kg	2,501 / kg	10,754	11,081 / kg	47,648
6) 硫 黄	16.60 kg	1,175 / kg	19,505	3,463 / kg	57,486
7) 殺 虫 剤	10.30 L	5,600 / L	57,680	16,908 / L	174,152
8) 展 着 剤	2.90 L	1,572 / L	4,559	5,683 / L	16,481
9) 殺 蟻 剤	3.00 kg	530 / kg	1,590	2,266 / kg	6,798
10) ハイ駆除剤	5.00 L	4,406 / L	22,030	15,639 / L	78,195
11) 殺 虫 剤	0.45 L	6,339 / L	2,853	19,980 / L	8,991
小 計	—	—	194,024	—	830,530
直接コスト計	—	—	331,159	—	1,270,704
C, 間接コスト					
1) 機械償却費			17,132		59,484
2) 果樹園償却費			53,493		282,696
3) 銀行利息 生産費			193,728		1,366,009
“ 固定投資			9,911		19,010
合 計	—	—	605,423	—	2,997,903

出所：HEA

3.5.2 バナナ

表 205

バナナ：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000房	単 収 房/ha
1	バ イ ア	54.4	75.3	1,384
2	サ ン バ ウ ロ	39.6	39.1	986
3	ミナス・ジェライス	34.0	35.3	1,042
4	リオ・デ・ジャネイロ	31.1	32.4	1,041
5	ゴ ヤ ス	34.6	31.0	894
6	サンタ・カタリーナ	20.0	29.0	1,450
7	ロ ン ド ニ ア	31.7	28.5	898
8	ペ ル ナ ン ブ コ	18.2	28.2	1,550
9	セ ア ラ	29.7	27.5	925
10	エスピリト・サント	24.4	19.4	794
11	そ の 他	84.0	95.4	1,135
合 計		401.7	441.1	1,098

出所：IBGE

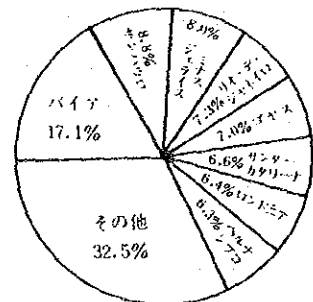
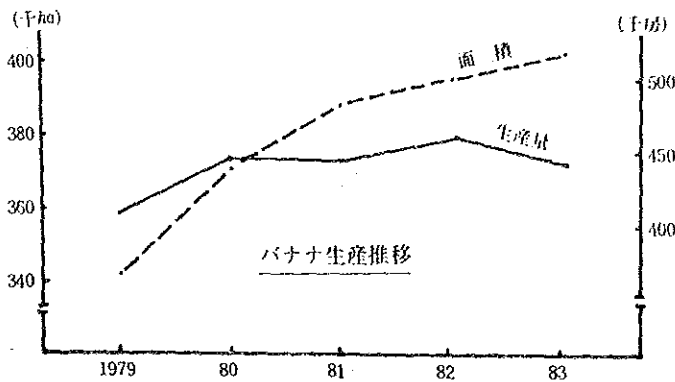
表 206

バナナ：過去5ヶ年間の生産推移

1,000房

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 バ イ ア	47.8	63.0	72.4	75.2	75.3
2 サ ン バ ウ ロ	37.2	41.3	43.0	40.7	39.1
3 ミナス・ジェライス	31.8	32.7	35.5	34.5	35.3
4 リオ・デ・ジャネイロ	31.4	34.2	33.7	31.0	32.4
5 ゴ ヤ ス	25.1	26.5	33.7	33.2	31.0
6 そ の 他	235.7	250.3	229.0	240.4	228.0
合 計	409.0	448.0	447.3	455.0	441.1

面 積 1,000ha	343.6	371.2	388.0	395.4	401.7
-------------	-------	-------	-------	-------	-------



バナナ：82/83農年生産分布

表 206A

バナナ：主要生産地の単収

房 / ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
バ イ ア	1,328	1,359	1,371	1,388	1,384
サ ン パ ウ ロ	1,045	1,158	1,216	1,027	986
ミナス・ジェライス	1,077	1,135	1,096	1,041	1,042
リオ・デ・ジャネイロ	957	1,045	1,058	1,011	1,041
ゴ ヤ ス	990	992	980	943	894
全 国 平 均	1,189	1,206	1,153	1,150	1,098

出所：IBGE

表 207 バナナ：生産コスト 1ha 2,200本植、30トン生産の場合 レジストロ (SP)

区 分	所要日数	83/84		84/85	
		単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
A-作業コスト					
1) 一般労力	71.67	2,395.	171,650.	6,270.	449,370.
2) トラクター運転手	5.12	3,195.	16,358.	9,590.	49,100.
3) 4輪トラクター	4.87	19,498.	94,955.	65,293.	317,976.
4) 運 搬	2.61	1,331.	3,474.	4,407.	11,502.
5) 防 除	2.00	1,149.	2,298.	3,798.	7,596.
6) 積 上	0.13	782.	102.	14,890.	1,935.
7) ト ラ ッ ク	0.25	19,089.	4,772.	69,782.	17,445.
小 計	—	—	293,609.	—	854,924.
B-資材コスト					
1) 配合肥料	2.20t	148,969. / t	327,732.	547,932. / t	1,205,450.
2) ス プ レ ー 油	225,00ℓ	485. / ℓ	109,125.	1,693. / ℓ	380,925.
3) 殺 虫 剤	66.00kg	1,367. / kg	90,222.	6,031. / kg	398,046.
4) CASCACHO	35.00m ³	350. / m ³	12,250.	3,500. / m ³	122,500.
5) 竹	70.00dz	500. / dz	35,000.	1,920. / dz	134,400.
6) 殺 虫 剤	11.00ℓ	5,550. / ℓ	61,050.	18,711. / ℓ	205,821.
小 計	—	—	635,379.	—	2,447,142.
直接費計	—	—	928,988.	—	3,302,066.
C-間接コスト					
1) 機械償却費			22,424.		74,612.
2) 銀行利息 生産費			543,458.		4,141,340.
固定投資			13,797.		25,132.
合 計	—	—	1,508,667.	—	7,543,150.

出所：IEA

3.5.3 ぶどう

表 208

ぶどう：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単収 kg/ha
1	リオ・グランデ・ド・スール	40.0	347.5	8,765
2	サンパウロ	9.2	141.5	15,386
3	サンタ・カタリーナ	5.3	55.0	10,371
4	パラナ	2.3	19.5	8,545
5	ベルナンブコ	0.5	6.5	12,000
6	ミナス・ジェライス	1.0	4.5	4,162
7	その他の	—	—	—
合計		58.1	574.5	9,898

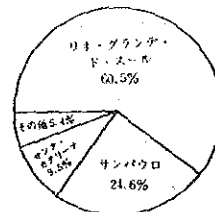
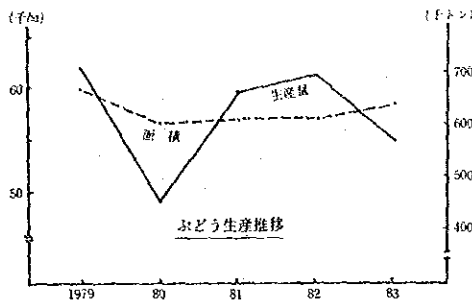


表 209

ぶどう：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 リオ・グランデ・ド・スール	462.6	221.0	415.6	430.0	347.5
2 サンパウロ	149.3	149.0	146.4	149.0	141.5
3 サンタ・カタリーナ	65.1	44.4	76.0	80.5	55.0
4 パラナ	17.2	19.2	17.6	19.2	19.5
5 ベルナンブコ	2.0	4.4	4.6	6.4	6.5
6 その他の	7.8	8.0	2.9	3.4	4.5
合計	704.0	446.0	663.1	688.5	574.5
面積 1,000ha	60.0	57.3	57.5	57.5	58.1

表 210

ぶどう：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
リオ・グランデ・ド・スール	11,214	5,796	10,800	11,116	8,765
サンパウロ	14,765	14,607	13,832	14,487	15,386
サンタ・カタリーナ	13,162	8,737	14,320	15,852	10,371
パラナ	7,860	8,575	8,619	8,734	8,545
ベルナンブコ	8,517	11,140	9,935	12,290	12,000
全国平均	11,747	7,776	11,527	11,965	9,895

出所：IBGE

3.5.4 バインアップル

表 211

バインアップル：1983年生産実績

順位	州 別	収穫面積 1,000ha	生産量	単 収 個 / ha
1	パラ イー バ	9.1	206.8	22,720
2	ミナス・ジェライス	9.7	167.2	17,171
3	バ イ ア	3.2	39.3	12,332
4	サンパウロ	1.2	27.1	27,150
5	エスピリト・サント	0.9	25.3	26,327
6	ゴ ヤ ス	0.8	14.6	16,670
7	ペルナンブコ	1.2	13.9	11,440
8	アラゴアス	0.4	9.3	19,809
9	リオ・グランデ・ド・ノルテ	0.5	9.0	18,697
10	パ ラ ー	0.3	6.1	20,049
11	そ の 他	2.7	28.0	10,370
合 計		30.0	551.3	18,086

出所：IBGE

表 212

バインアップル：生産推移

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 パラ イー バ	123.6	111.5	142.0	161.0	206.8
2 ミナス・ジェライス	76.6	101.8	107.8	125.2	167.2
3 バ イ ア	38.1	36.2	37.7	39.3	39.3
4 サンパウロ	27.2	21.0	20.5	23.6	27.1
5 エスピリト・サント	14.7	14.3	20.4	18.8	25.3
6 そ の 他	106.6	92.4	84.6	77.8	85.6
合 計	386.8	377.2	413.0	445.7	551.3
面 積 1,000ha	26.6	25.2	27.0	26.4	30.5

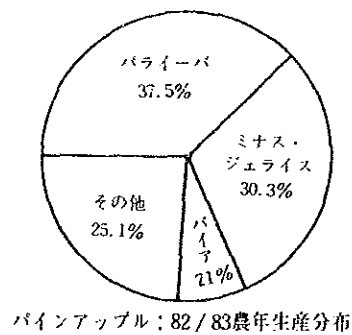
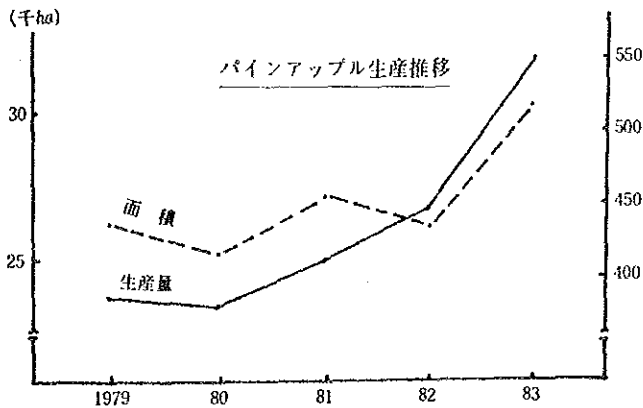


表 212-A

パイナップル：主要生産地の単収

個 / ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
パラíba	18,277	18,498	19,154	21,955	22,720
ミナス・ジェライス	13,511	15,599	14,464	15,779	17,171
パイア	12,700	12,500	12,508	12,332	12,305
サンパウロ	20,782	20,192	21,785	21,670	22,073
エスピリト・サント	22,000	22,000	22,000	33,139	26,327
全国平均	14,519	14,977	15,286	16,902	18,086

出所：IBGE

表 213

パイナップル：生産コスト サンパウロ州パウラー地区 第1年目

区 分		83年/84年		84年/85年	
A, 作業コスト	作業日数	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 一般労働	26.03	2,285	59,479	6,315	164,379
2) トラクター運転手	5.23	3,220	16,841	9,405	49,188
3) 4輪トラクター	5.23	19,498	101,975	65,293	341,482
4) 耕起	1.03	1,332	1,372	3,576	3,683
5) 碎土	0.50	2,691	1,446	7,634	3,817
6) 機械中耕	3.20	544	1,741	2,225	7,119
7) 防除	0.50	2,613	1,307	6,023	3,011
小計	—	—	184,161	—	572,679
B, 資材コスト	単 位	単価 Cr\$	金額 Cr\$	単価 Cr\$	金額 Cr\$
1) 苗	15,000.00 U	10 / U	142,500	10 / U	150,000
2) 殺虫剤	1.00 L	7,371 / L	7,371	19,457 / L	19,457
3) 消毒剤	0.41 kg	7,371 / kg	3,022	7,755 / kg	3,180
4) 配合肥料	2.00 T	107,750 / T	215,500	391,232 / T	782,464
5) 除草剤	5.79 kg	7,680 / kg	44,467	25,073 / kg	145,173
小計	—	—	412,860	—	1,100,274
直接費計	—	—	597,021	—	1,672,952
C, 間接コスト					
1) 機械償却費			23,778		76,109
2) 銀行利息 生産費			349,256		1,798,424
〃 固定投資			14,319		25,014
合計	—	—	984,374	—	3,572,499

出所：IEA

3.6 野菜類

3.6.1 トマト

表214

トマト：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg / ha
1	サンパウロ	21.0	758.3	36,023
2	ミナス・ジェライス	4.1	151.4	36,610
3	リオ・デ・ジャネイロ	2.7	112.3	42,148
4	バイア	3.7	100.2	26,756
5	ペルナンブコ	4.1	99.1	23,890
6	ゴヤス	1.2	53.0	42,231
7	パラナ	1.1	46.0	42,202
8	リオ・グランデ・ド・スール	3.3	43.0	13,069
9	エスピリット・サント	0.8	41.0	48,277
10	パライーバ	1.4	41.0	29,517
11	サンタ・カタリーナ	1.5	34.0	22,984
12	セアラ	1.4	32.0	23,172
13	マラニョン	0.4	10.1	25,267
14	ブラジリア	0.2	9.4	50,000
15	その他	1.2	16.2	13,500
合 計		48.1	1,547.0	32,126

出所：IBGE

表215

トマト：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
サンパウロ	720.1	796.0	690.0	826.0	758.3
ミナス・ジェライス	98.0	144.0	132.3	159.4	151.4
リオ・デ・ジャネイロ	97.5	91.0	106.0	92.3	112.3
バイア	77.5	71.0	71.1	95.4	100.2
ペルナンブコ	165.5	122.6	129.2	215.5	99.1
その他	342.5	310.7	323.4	348.8	325.7
合 計	1,501.1	1,535.3	1,452.0	1,737.4	1,547.0

面積 1,000ha	57.4	50.1	48.5	55.1	48.1
------------	------	------	------	------	------

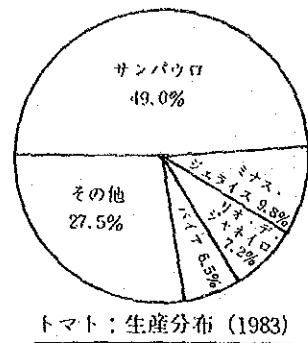
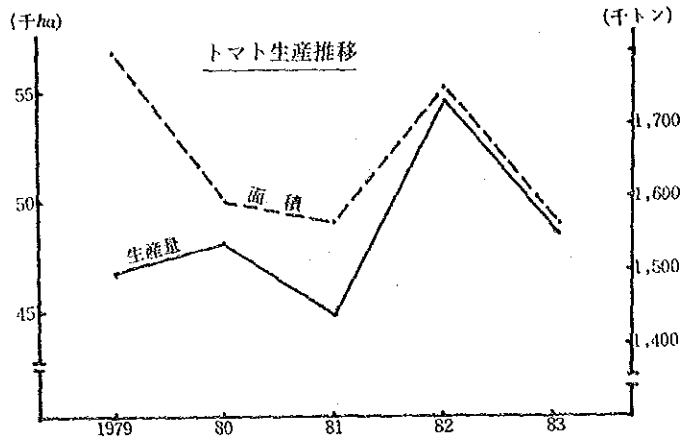


表216 トマト：主要生産地の単収

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
サンパウロ	27,173	34,501	32,547	35,603	36,023
ミナス・ジェライス	29,113	34,448	33,203	36,265	36,610
リオ・デ・ジャネイロ	38,855	39,252	42,542	38,240	42,148
バイア	23,983	27,455	25,611	27,912	26,756
ベルナンブコ	20,869	20,808	20,822	24,960	23,890
全国平均	26,136	30,643	29,916	31,531	32,126

出所：IBGE

表217 トマト：サンパウロ中央市場価格 Cr/kg

	価 格			実 質 価 格		
	1981	1982	1983	1981	1982	1983
1	24,147	26,956	26,834	175	122	185
2	24,806	23,832	23,513	144	144	219
3	17,426	29,546	23,548	300	152	273
4	17,241	28,335	19,495	321	146	340
5	21,664	26,909	23,084	155	160	243
6	24,107	26,013	23,404	144	171	208
7	28,279	24,368	22,659	106	204	153
8	22,307	22,975	21,157	156	197	190
9	16,992	23,882	23,866	275	161	170
10	21,669	26,534	25,204	257	151	167
11	29,096	23,890	24,571	115	178	170
12	25,750	21,353	28,541	127	247	96

3.6.2 ジャガイモ

表218 ジャガイモ：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg / ha
1	サンパウロ	31.1	529.0	17,028
2	ミナス・ジェライス	27.5	462.1	16,811
3	パラナ	45.0	423.0	9,396
4	リオ・グランデ・ド・スール	46.0	260.1	5,664
5	サンタ・カタリーナ	16.0	118.5	7,401
6	ブラジリア	0.5	10.7	19,802
7	その他	1.9	15.1	7,947
合 計		168.0	1,818.5	10,833

出所：IBGE

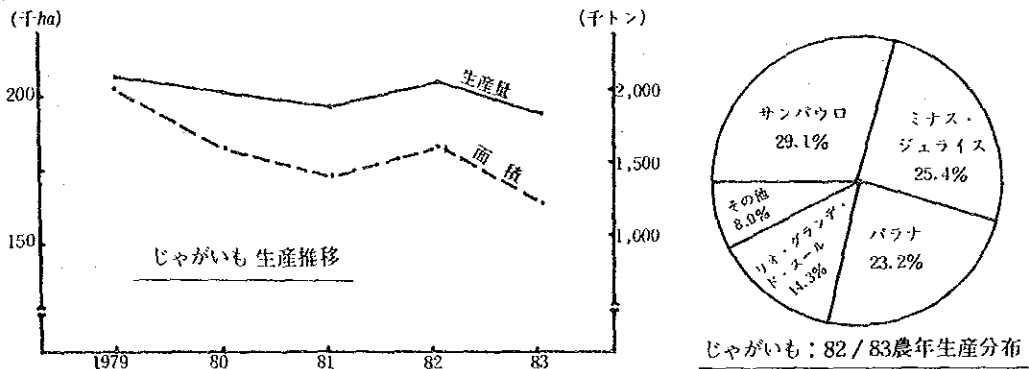


表219 ジャガイモ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 サンパウロ	520.2	513.6	495.6	573.3	529.0
2 ミナス・ジェライス	404.5	447.5	492.7	542.7	462.1
3 パラナ	616.0	522.0	459.4	598.5	423.0
4 リオ・グランデ・ド・スール	417.0	298.5	289.0	245.0	260.1
5 サンタ・カタリーナ	172.6	143.0	152.0	161.0	118.5
6 その他	23.9	14.9	23.5	27.5	25.8
合 計	2,154.2	1,939.5	1,912.2	2,148.0	1,818.5

面積 1,000ha	1979	1980	1981	1982	1983
面積	204.1	181.1	171.0	182.0	168.0

表 220

トマト：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
サンパウロ	16,348	18,008	16,834	17,948	17,028
ミナス・ジェライス	12,852	14,035	14,721	16,921	16,811
パラナ	11,214	12,239	11,735	11,862	9,396
リオ・グランデ・ド・スール	6,629	5,317	6,032	5,376	5,664
サンタ・カタリーナ	8,652	7,207	8,291	8,481	7,401
全国平均	10,553	10,710	11,183	11,809	10,833

出所：IBGE

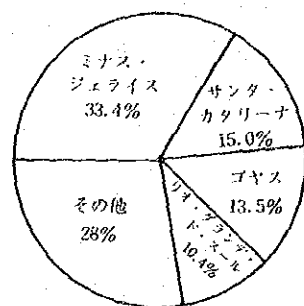
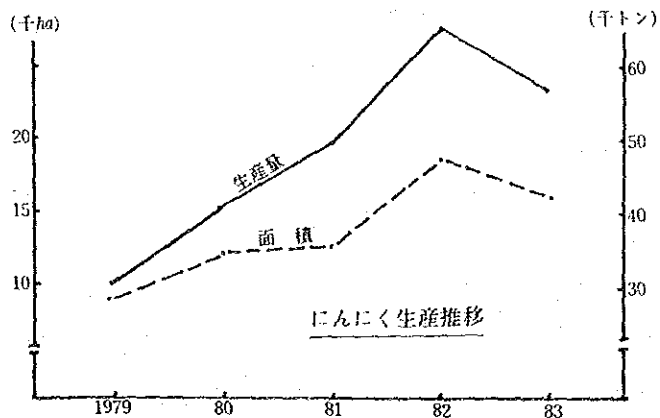
3.6.3 にんにく

表 221

ニンニク：1983年生産実績

順位	州 別	面積 1,000ha	生産量 1,000トン	単位 kg/ha
1	ミナス・ジェライス	4.3	19.2	4,435
2	サンタ・カタリーナ	2.5	8.6	3,323
3	ゴヤス	1.6	7.8	4,642
4	リオ・グランデ・ド・スール	2.1	6.0	2,796
5	サンパウロ	1.1	5.1	4,470
6	パラナ	1.3	3.7	2,800
7	その他	2.7	7.2	2,667
合計		15.6	57.6	3,395

出所：IBGE



にんにく：82/83農年生産分布

表 222

にんにく：過去5ヶ年間の生産推移

1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 ミナス・ジェライス	12.5	16.5	15.7	22.0	19.2
2 サンタ・カタリーナ	4.7	6.7	8.0	8.5	8.5
3 ゴ ヤ ス	3.6	4.3	7.3	8.0	7.8
4 リオ・グランデ・ド・スール	4.0	5.1	5.6	5.8	6.0
5 サンパウロ	0.5	0.5	0.8	3.4	5.1
6 その他	6.0	7.2	10.7	16.5	11.0
合 計	31.3	40.3	48.1	64.2	57.6

面 積 1,000ha	8.5	12.3	12.6	18.3	15.6
-------------	-----	------	------	------	------

出所：IBGE

表 223

にんにく：主要生産地の単収

kg/ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
ミナス・ジェライス	3,936	4,160	4,266	4,386	4,435
サンタ・カタリーナ	3,664	1,860	3,172	3,323	3,323
ゴ ヤ ス	5,000	5,300	5,698	2,731	4,642
リオ・グランデ・ド・スール	2,985	2,913	2,683	2,767	2,796
サンパウロ	2,750	3,875	4,686	4,290	4,470
全 国 平 均	3,693	3,262	3,805	3,505	3,695

出所：IBGE

3.6.4 玉ねぎ

表224

玉ねぎ：1983年生産実績

順位	州 別	面 積 1,000ha	生産量 1,000トン	単 収 kg/ha
1	サンパウロ	17.0	254.0	14,975
2	リオ・グランデ・ド・スール	20.0	167.5	8,434
3	サンタ・カタリーナ	12.3	125.7	10,191
4	ベルナンブコ	7.7	92.7	12,056
5	バイア	4.4	53.0	12,116
6	パラナ	4.2	23.0	5,497
7	ミナス・ジェライス	1.2	7.0	5,848
8	その他	0.4	1.7	4,250
	合 計	67.2	724.6	10,787

出所：IBGE

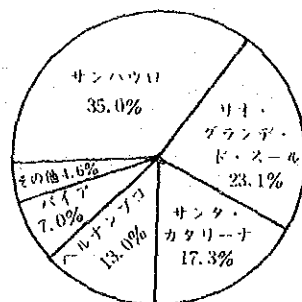
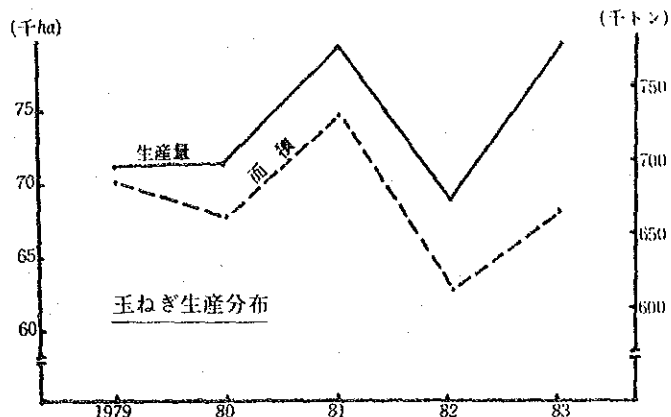


表 225 玉ねぎ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000トン

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
1 サンパウロ	307.0	280.0	282.6	255.6	254.0
2 リオ・グランデ・ド・スール	151.0	151.2	193.0	168.5	167.5
3 サンタカタリーナ	94.0	103.6	152.0	113.6	125.7
4 ペルナンブコ	68.1	87.0	71.0	54.1	92.7
5 バイア	23.0	40.1	41.0	46.0	53.0
6 その他	48.0	32.7	38.8	31.4	31.7
合計	691.1	694.6	778.4	669.2	724.6
面積 1,000ha	69.1	67.0	74.2	62.3	67.2

表 226 玉ねぎ：主要生産地の単収 kg / ha

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
サンパウロ	15,743	16,412	15,527	15,799	14,975
リオ・グランデ・ド・スール	6,697	7,383	8,554	8,555	8,434
サンタ・カタリーナ	8,814	8,458	8,997	9,983	10,191
ペルナンブコ	12,760	12,540	12,000	11,836	12,056
バイア	9,525	10,568	11,982	10,232	12,166
全国平均	10,000	10,360	10,484	10,735	10,787

出所：IBGE

3.7 牧畜部門

3.7.1 牛

イ) 生産

1983年度の牛肉生産量は236万トンで前年の約240万トンを(-)1.5%下廻ったが、80年及び81年と比較するとそれぞれ13.2%及び11.6%の増加であった。一方牛肉生産のために屠殺された牛の頭数は前年を1.2%下廻る11,524千頭であった。屠殺牛の中に含まれる雌牛の割合は前年の34.5%より83年には33.2%に減少している。これは牛肉価格上昇に関連する現象で牛肉価格が上ると親牛を保留しようとする傾向が強まるからである。

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

米国農務省の推定によると1983年度における牛肉の世界生産は約40百万トンとされている。これは82年度の世界生産量をやや下廻るものであり、米国、ソ連、及びEC諸国の増産もオーストラリア、アルゼンチン及びポーランドの減産をカバーすることができなかった。

世界の生産減少に応じて世界の貿易も減少し、82年の4,618千トンより83年は4,599千トンに止まっている。世界経済のリセッションが需要減退の大きな原因であり、世界の輸出国間に激しい競争がみられた。

世界最大の牛肉輸出国オーストラリアは最近数年間に見舞われた長期乾燥の被害を受けており、その保有頭数は減少し、83年度で約22百万頭と見積られている。

このため保有頭数の回復が目指されている

が、保有数回復の手段は屠殺の減少であり、牛肉生産の減少を引き起こしているものである。1983年の輸出量は前年を(-)22%下廻る73千トンで主に米国、日本及び韓国向けに輸出されている。

アルゼンチンも又保有数の回復をみているものの、その国内経済事情の中で課されている高率の税金、ウルグアイやブラジルとの競争の激化等により世界貿易に占める比率を縮めており、84/85年よりの情勢回復を期待している程度である。輸出先市場はソ連、EC諸国及びエジプトを主体としており、その輸出額は前年の522千ト

表227 ブラジルの牛肉生産量 1,000トン

月別	1980-1983				82/83
	1980	1981	1982	1983	累計%
1	171.7	141.1	165.9	204.3	23.1
2	169.6	160.7	171.6	189.6	16.6
3	217.1	229.4	226.2	217.8	8.4
4	225.0	250.0	226.5	219.6	5.1
5	257.9	258.7	256.2	254.1	3.7
6	209.6	201.5	234.6	234.8	3.0
7	184.5	195.5	210.7	219.0	3.1
8	145.9	158.7	181.8	200.3	3.9
9	129.6	130.6	165.7	148.6	2.6
10	114.2	123.2	163.6	140.5	1.3
11	114.8	118.6	185.0	153.0	- 0.3
12	143.9	147.1	208.8	178.9	- 1.5
計	2,083.8	2,115.1	2,396.6	2,360.5	- 1.5

出所: CEPAGRO/ CFP

表228 牛:屠殺数と牝牛の割合 1,000頭

月別	1982			1983		
	屠殺数	内牝牛	%	屠殺数	内牝牛	%
1	824	310	37.6	984	337	34.2
2	844	332	39.3	918	347	37.8
3	1,084	395	36.4	1,049	399	38.0
4	1,081	374	34.6	1,053	367	34.8
5	1,220	411	33.7	1,213	397	32.7
6	1,136	383	33.7	1,127	347	30.8
7	1,041	371	35.6	1,073	333	31.0
8	905	320	35.4	988	302	30.6
9	829	277	33.4	763	242	31.7
10	795	229	28.8	711	211	29.7
11	883	254	28.8	763	243	31.8
12	1,017	362	35.6	882	302	34.2
計	11,659	4,018	34.5	11,524	3,827	33.2

出所: CEPAGRO

ンより83年には 420千トンに落している。

EC諸国における牛肉生産の増加率は牛肉消費の増加率よりも高く、圏内における金利の上昇がストック費用を増加させたことも加わって81年以降世界貿易への参加比率を高めた。82年より83年にかけて輸出量は 1,559千トンより 1,680千トンへと増大している。

ウルグアイとニュージーランドは伝統的な牛肉の輸出国であり、83年には牛肉生産量の50～70%を国際市場に出している。ニュージーランドの米国に対する輸出は同国通貨の対米ドル平価大市切下げにより増加している。ウルグアイは従来、ブラジルの draw-back 制度による同国産牛肉の輸入が減少したため他の市場を求めている。

ブラジルの輸出は最近伸びをみせており、79年当時の輸入国より大型の輸出国へ転じている。牛肉輸出の中、代表的な骨つき冷凍牛肉及び加工牛肉（コンビーフ）の輸出実績は次表の通りであった。

表 229 骨つき冷凍肉の輸出 1983年

輸 出 先 国	重 量 1,000トン	金 額 100万ドル
1 イ ラ ク	28.1	39.2
2 英 国	17.1	34.5
3 オ ラ ン グ	10.2	18.6
4 イ タ リ ー	8.0	16.7
5 ス ベ イ ン	8.8	15.9
6 エ ジ プ ト	10.5	15.6
7 西 独	7.7	13.7
8 香 港	6.8	12.9
9 サウジ・アラビア	5.7	11.8
10 ギ リ シ ャ	2.4	3.8
11 フ ラ ン ス	8.8	3.3
12 そ の 他	1.8	14.2
計	115.9	200.2

出所：CACEX

関税番号 02.01.01.04

表 230 煮沸肉(コンビーフ)の輸出 1983年

輸 出 先 国	1,000トン	100万ドル
1 英 国	53.6	131.8
2 米 国	25.8	60.3
3 エ ジ プ ト	6.6	12.9
4 カ ナ ダ	3.8	8.3
5 プエルト・リコ	3.3	7.5
6 イ ラ ク	3.0	6.1
7 ジャマイカ	2.1	4.3
8 サウジ・アラビア	1.6	3.4
9 トリニダード	1.1	2.5
10 リ ビ ア	0.6	1.3
11 シ リ ア	0.5	1.2
12 そ の 他	7.7	10.5
計	109.7	250.1

出所：CACEX

関税番号 16.02.01.01

83年にはヨーロッパ、中東及びアフリカに新しい市場を開拓しており、加工品、冷凍生肉のいずれも輸出を伸ばしている。83年に輸出が伸びたのは国内市場が経済減退による失業率の増大、購買力の減退のため海外への販路を積極的に求めた結果によっている。

牛肉の大型生産国かつ輸出国としての米国は77年より79年にかけて極度に減少したストックを除々に回復しているが、1983年も生産輸出の拡大にかかわらず前年引続き純輸入国（輸出－輸入）としての立場を続けている。

ソ連は国内生産の増加により輸入の必要性を減じた。逆に日本とカナダは国産の減少により輸入量を増やしている。又韓国の場合は国内生産の増加に加え国内ストックを利用したため輸入の必要量を減少した。

世界的にみて牛の保有数を増加させる条件を持つ国が少ないため、世界の牛肉生産は減少傾向に向う見通しである。

ハ) 国内市場価格

83年の最初2ヶ月間には牛肉生産の増加にかかわらず価格のわずかな上昇があった。これは中央・南東及び南部地方における長期降雨のため屠殺用牛の輸送に困難を来したためであった。しかし、この価格上昇も実質的には減少していたため屠殺が増加し、仔牛を含む雌牛まで屠殺に廻された。

3月から4月にかけては輸出の可能性が出てきたことや、冷凍工場のストックが減少したことなどを理由とした値上がりがあり、その後9月まで比較的安定した時期を経たが、9月に入ると屠殺用牛の供給量減少によって価格は上昇し、年末にかけて急激な値上がりがみられた。

上記83年度の価格上昇率は年間 211%のインフレ率を大きく上廻り、仔牛が 419%、放牧牛 399%、肥育牛 356%であった。また卸市場では前脚及び後脚部の肉が前年比 320%の上昇となっている。これは実質価格にして（インフレ率を除いて）35%の上昇となるが、小売価格の方は実質値上りは23%に終わっている。卸価格と小売価格に見られる差は一般消費者の購買力減退により需要がネガティブに反応したためのものであり、牛肉生産が減少し、輸出が増大し、人口が増加している状況の中での上記現象は国

内牛肉消費が極度に減少したことを物語るものである。と同時に牛肉以外の肉類も価格が上昇しており、牛肉の代替品がなかったところから国民の蛋白消費が減少したことを示すものでもある。

3.7.2 豚

1983年の豚肉生産は 761.3千トンで前年比 4.5%の増加であった。同表によると 1～4月間の累計がわずかな

表 231 牛：生産者受取価格

月 別	仔牛(雄) CR/頭	放牧牛 CR/頭	肥育牛 CR/ アローバ
1982年12月	15,473	35,201	4,000
1983年 1	19,563	39,891	4,200
2	21,555	44,398	4,533
3	21,248	45,430	5,375
4	33,477	72,878	6,875
5	33,889	73,276	6,900
6	35,547	73,893	7,300
7	46,797	85,627	9,675
8	57,167	103,752	11,750
9	69,039	117,516	16,500
10	77,384	158,359	18,000
11	77,787	161,032	18,700
12	80,348	175,877	18,250
年間値上率%	419.3	399.6	356.3

出所：IEA

表 232 豚肉生産推移 1,000トン

月別	1980	1981	1982	1983	83/82累計%
1	58.2	65.8	54.4	56.1	3.1
2	49.1	58.2	49.8	51.1	2.9
3	59.5	53.4	64.8	65.3	2.1
4	57.7	60.3	54.6	59.1	3.6
5	60.1	68.4	57.0	65.4	5.8
6	70.1	74.3	59.8	71.1	8.1
7	80.3	73.8	70.0	70.2	6.8
8	73.8	75.8	62.9	75.6	8.6
9	81.7	66.0	61.1	67.7	8.2
10	77.6	67.9	62.4	68.3	8.3
11	70.6	66.4	59.5	60.0	7.7
12	73.7	59.4	66.9	51.4	4.8
計	812.4	789.7	726.2	761.3	4.8

出所：CFP

表 233 豚肉/とうもろこし価格関係

月別	1981	1982	1983
1	4.1	7.4	7.1
2	4.7	8.2	7.4
3	8.3	7.6	8.0
4	6.2	7.9	7.5
5	6.1	9.0	5.8
6	6.1	9.8	5.4
7	7.3	9.8	4.9
8	7.7	9.7	5.9
9	5.4	9.1	4.3
10	5.3	8.2	4.4
11	5.7	8.1	5.0
12	5.8	7.1	5.0

出所：CFP

表 234 豚肉1kgの価格で購入出来るとうもろこしの量(州別)

州 別	1979	1980	1981	1982	1983
ミナス・ジェライス	8.81	7.79	4.68	9.33	8.44
エスピリト・サント	9.09	7.84	5.98	8.32	7.57
リオ・デ・ジャネイロ	7.94	7.13	5.67	8.00	7.16
サンパウロ	10.31	8.21	7.42	10.97	9.23
パラナ	10.63	8.45	6.80	10.51	8.59
サンタ・カタリーナ	8.88	7.32	6.96	9.56	7.62
リオ・グランデ・ド・スール	7.32	6.30	5.81	8.48	7.16
マット・グロッソ	9.52	9.06	7.80	8.91	7.95
マット・グロッソ・ド・スール	—	9.43	7.10	8.58	8.39
ゴヤス	11.17	9.74	7.35	10.57	7.91

出所：FGV、IEA

から 3.6%の増加をみたのは豚肉価格の好転を示すものであり、豚肉ととうもろこしの価格関係が豚肉にとって有利に展開したことによっている。

豚肉価格ととうもろこし価格との関係は、とうもろこしが養豚コストにもっとも大きな割合を占めるため、養豚の収益を概観するための指標となるものであり、通常豚肉1kgの代金で購入出来るとうもろこしの量は6kgを最低線とし、これを下廻る場合は養豚収益がネガチープであること、またこれを上廻る場合は養豚収益はポジチープであるとされている。80年代に入ってこの関係が良好であったのは1982年で、最低 7.1より最高 9.8の範囲にあり、年間を通じて養豚活動の収益が保証されていたあとがみられる。

83年は豚肉価格がインフレ率を上廻る水準にあったが、とうもろこし価格の値上りがひどく豚肉価格の上昇率をはるかに上廻ったため、豚肉～とうもろこし価格の関係は年間を通じて悪く、飼料用とうもろこしを自家生産している農家の場合、飼料として消費し豚肉として販売するよりもとうもろこしそのまま販売する方が有利という地域もあった。

3.7.3 鶏

イ) 生産及び価格

1983年度における肉鶏用ヒナの需要は前年比(-) 4.7%で、主要生産地の全般にわたってこの傾向がみられた(リオ・グランデ・ド・スール州-15.2%、ミナス・ジェライス州-12.7%、リオ・デ・ジャネイロ州- 4.0%、サンパウロ州- 3.4%)。この結果、プロイラーの生産は82年の 1,578千トンより83年の 1,559千トンへと落ちた。

1960年に養鶏に新しい生産システムが取り入れられていらい、プロイラー生産が落ちたのは始めてである。

1983年も中頃までは生産は上昇気味であったが、下半期に入って直後生産は急激に落ち以後回復することなく、過去13年間にわたって年間平均17.4%の成長を続けてきたプロイラー生産の成長リズムが中断されたことになる。

このように生産を減退させた最大の要素は飼料となるととうもろこし国内価格の上昇であり、また国際相場の上

昇からひきおこされた大豆の国内価格の上昇、生産資材価格の上昇などによるものである。また牛の屠殺減少による血粉、肉、及び骨などの保給量の減少、価格の上昇も大きく影響している。

鶏価格及び卵価格と飼料価格との関係は表235～236に示す通りで80年以來関係悪化が観察される。

生産者受取価格は83年の後半に上昇し、各12月の対比で前年を26%上廻る上昇であったが、飼料価格の上昇から養鶏収益の減少が起っている。また他の肉類と同様に国内市場は給与水準の低下、失業率の増大、購買力の全面的な減少という事態にあり、価格がある程度まであがると需要が減退する状況にあった。

表 235 鶏と飼料との価格関係

	1980	1981	1982	1983
1	3.80	2.95	2.68	3.25
2	3.32	2.64	2.83	2.73
3	3.09	2.39	3.05	2.81
4	2.95	2.37	2.82	2.90
5	2.72	2.33	2.33	2.99
6	2.71	2.47	2.40	2.68
7	2.84	2.74	2.56	2.40
8	2.89	2.94	2.82	2.09
9	2.65	2.94	2.75	2.34
10	2.34	2.91	2.66	1.91
11	2.73	2.80	2.92	2.12
12	3.41	2.54	3.21	2.05
	2.95	2.67	2.76	2.52

表 236 卵と飼料の価格関係

	1980	1981	1982	1983
1	2.06	1.68	1.84	2.08
2	1.96	1.78	2.16	1.83
3	2.38	1.84	2.75	2.03
4	2.33	2.01	2.67	2.04
5	2.22	1.87	2.13	1.81
6	1.89	1.97	2.35	2.18
7	2.11	1.96	2.05	2.11
8	1.94	2.10	2.33	1.61
9	1.64	2.12	1.93	1.98
10	1.77	1.91	1.47	1.42
11	1.97	2.05	1.44	1.42
12	1.85	1.92	1.60	1.40
	2.01	1.93	2.06	1.82

表 237 プロイラー：生産者受取価格 (サンパウロ州) Cr/kg

	価 格			実 質 価 格		
	1981	1982	1983	1981	1982	1983
1	61	84	154	435	305	273
2	60	98	158	394	334	262
3	59	106	202	361	336	304
4	59	103	229	342	310	316
5	60	93	264	327	264	341
6	59	97	274	306	253	316
7	65	106	279	320	261	283
8	74	117	311	342	274	286
9	74	118	436	327	266	356
10	75	120	510	215	258	368
11	74	139	595	297	284	396
12	79	153	601	307	294	371

出所：IEA

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

生産者受取価格の低下、生産資材の上昇等により83年度における世界の鶏生産は前年比わずか2%の増加に止まった。

価格は下降気味であり、FOB BRASILの輸出価格は前年のトン当り 946ドルより83年は 837ドルへと落ちた。このような状況の中で生産国中販売を伸ばしたのはフランス1国のみ(前年比17%増)であったが、その背景には政府の大きな補助があったといわれている。

逆に米国は輸出市場を大巾に失った国の1つであるが、フランスの進出に対する態度としてGATTに対しフランス及びブラジルが輸出に対する補助を受けていることについて公式な抗議を行なう問題もあった。

全般に肉市場の需要は落ちたが一部工業開発国の経済回復に伴う需要の発生もみられた。日本、ソ連、米国及びフランスにおいては前年比それぞれ 6.4%、5.9%、3.0%及び 2.1%の需要増加であった。

ブラジルのプロイラー輸出も81年を頂点として下降している。

— 201 —

表 238 プロイラー：輸出実績 1983年

輸 出 先 国	重量 1,000トン	金額 100万ドル
1 サウジ・アラビア	92.3	78.3
2 イ ラ ク	65.3	54.2
3 エ ジ プ ト	47.0	34.6
4 ソ 連	16.0	13.4
5 イ ラ ン	16.3	13.4
6 ク ウ ェ ー ト	13.5	11.4
7 ス ペ イ ン	6.6	6.6
8 ア ラ ブ 連 合	6.2	5.1
9 イ ェ ー メ ン	4.7	4.0
10 そ の 他	21.4	21.2
計	289.3	242.2

出所：CACEX

関税番号 02.02.01.02

表 239

プロイラーの輸出推移

重 量 1,000トン					金 額 100万ドル				
1979	1980	1981	1982	1983	1979	1980	1981	1982	1983
81.1	168.7	293.9	301.8	289.3	81.1	226.7	354.3	285.5	242.2

出所：CACEX

— 201 —

表 240

木材輸出実績

関税番号	商 品 名	輸 出 先 国	重 量 トン	金 額 1,000ドル FOB
44.05	角 材			
44.05.01.01	ビ ー ニ ヨ (松材)	英 国 アルゼンチン ウルグアイ アイルランド そ の 他	11,925 15,914 3,274 1,441 1,248	7,045 6,886 1,586 835 735
		小 計	33,802	17,087
44.05.99.01	セ ー ド ロ (西洋杉)	ベネズエラ 西 独 米 国 そ の 他	2,555 1,141 1,020 257	1,231 397 242 139
		小 計	5,073	2,009
44.05.99.02	イ ン プ イ ア 材	南 ア 連 邦 モ ロ ッ コ ZIMBABWE そ の 他	3,572 183 120 174	1,968 94 42 95
		小 計	4,049	2,199
44.05.99.03	ジ ャ カ ラ ン グ 材	西 独 米 国 そ の 他	271 34 18	102 32 7
		小 計	323	141
44.05.99.05	ス コ ビ ー ラ 材	ポルトガル イ タ リ ア 米 国 そ の 他	3,661 780 431 229	738 158 89 59
		小 計	5,101	1,014
44.05.99.06	ビ ロ ー ラ 材	米 国 カ ナ ダ 英 国 そ の 他	16,636 9,591 311 62	3,484 2,306 67 14
		小 計	26,600	5,871
44.05.99.07	ア グ ア ー ノ 材	英 国 米 国 西 独 アイルランド ルクセンブルグ3ヶ国 サウジ・アラビア そ の 他	17,207 12,249 3,965 2,193 2,331 1,809 7,487	8,995 4,731 1,716 1,086 1,019 927 2,927
		小 計	47,241	21,401
	そ の 他	米 国 ス ペ イ ン ベネズエラ 西 独 ポルトガル そ の 他	3,475 4,490 4,685 775 1,947 5,865	977 965 578 471 393 1,487
		小 計	21,237	4,871
44.05	計		143,426	54,623

関税番号	商 品 名	輸 出 先 国	重 量 トン	金 額 1,000ドル FOB	
44.07.00.00	鉄 道 用 枕 木	南 ア 連 邦	6,013	1,241	
		イ タ リ ア	2,503	268	
		そ の 他	32	4	
		小 計	8,548	1,513	
44.09	杭、アーチ、金具の柄その他	計	49	24	
44.11.01.00	顔 縁 他 加 工 品	米 国	82,748	21,170	
		ナ イ ジ ェ リ ア	37,101	6,846	
		オ ラ ン ダ	14,434	2,521	
		ベ ル ギ ー	3,566	1,609	
		カ ナ ダ	7,003	1,554	
		英 国	6,588	1,479	
		西 独	6,260	1,392	
		そ の 他	24,834	5,971	
	小 計	182,534	42,542		
44.13	床 材 他				
44.13.01.01	床 材	ア イ ル ラ ン ド	42	24	
		英 国	29	17	
		小 計	71	41	
44.13.01.99	床 材 各 種	英 国	23,853	14,307	
		米 国	1,822	1,203	
		オ ラ ン ダ	1,945	1,198	
		ア イ ル ラ ン ド	2,005	1,183	
		そ の 他	2,042	1,109	
		小 計	31,667	19,000	
		そ の 他	英 国	57,854	32,575
			米 国	84,275	30,128
南 ア 連 邦	11,682		6,055		
ア イ ル ラ ン ド	9,258		5,481		
ス ベ イ ン	8,216		2,180		
そ の 他	37,246		14,520		
	小 計	208,531	90,934		
44.13	計		240,284	109,990	
44.14	板材厚さ5mm以下				
44.14.01.00	ピ ニ ョ (松材)	ア ル セ ン チ ン	978	496	
		ウ ル グ ャ イ	345	165	
		そ の 他	5	2	
		小 計	1,328	663	
44.14.02.00	セ ー ド ロ 材	西 独	309	164	
		ア ル セ ン チ ン	92	90	
		米 国	67	34	
		そ の 他	27	31	
		小 計	495	319	

関税番号	商品名	輸出先国	重量 トン	金額 1,000ドル FOB
44.14.03.00	インプイア材	南ア連邦	1,274	1,810
		イタリア	29	41
		その他	32	73
		小計	1,335	1,924
44.14.04.00	ジャカラング材	西独	43	599
		日本	11	162
		米国	3	51
		その他	24	77
	小計	81	889	
44.14.05.00	ピローラ材	西独	448	305
		米国	695	292
		イスラエル	841	253
		その他	73	63
	小計	2,057	913	
44.14.06.00	アグアノ材	米 国	2,006	3,131
		アルゼンチン	719	722
		西独	316	533
		デンマーク	204	428
		その他	541	1,046
	小計	3,786	5,860	
44.14.07.00	カルパーリョ材	西独	3,842	7,040
		その他	4	7
		小計	3,846	7,047
44.14	板材合計		40,502	30,733
44.15	合板類			
44.15.01.00	合板	プエルト・リコ	18,721	10,388
		英国	28,707	13,758
		サウジ・アラビア	7,800	3,417
		オランダ	3,132	4,853
		バルバードス	2,025	1,254
		トリニダード	2,106	1,279
		その他	22,497	7,637
	小計	84,988	42,586	
44.15.99.00	合板各種計	小計	10,526	5,824
		計	95,514	48,410

出所：CACEX

《参考資料》

Levantamento Sistemático da Produção Agropecuária
Anuário Estatístico do Brasil
Relatório Anual da CFP 1983
Carta de CFP
Prognóstico 82/83
Informação Econômica
Conjuntura Econômica
Agroanalysis
Comercio Exterior 1983
Suma Agrícola (週刊農業情報)
Guia Brasileiro de Instituições de Pesquisa 1979-81

ブラジル地理統計院
全上
生産融資公社
生産融資公社
サンパウロ州農務局
全上
ゼツリオ・ヴァルガス経済研究所
全上
ブラジル銀行貿易局 (CACEX)
タマ・エジトール社
ブラジル農牧研究公社

報告書作成 1985年3月

SIN PROMOÇÃO E MARKETING LTDA.
RUA DR. CINTRA GORDINHO, 117
ALTO DA LAPA - SÃO PAULO
BRASIL

JICA